

Pioneer

CD MD チューナー

XC-K55MD

パワード スピーカーシステム

PSP-K55-LR

取扱説明書



このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。

なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。



音のエチケット

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

操作確認音「ピッ」を消すには

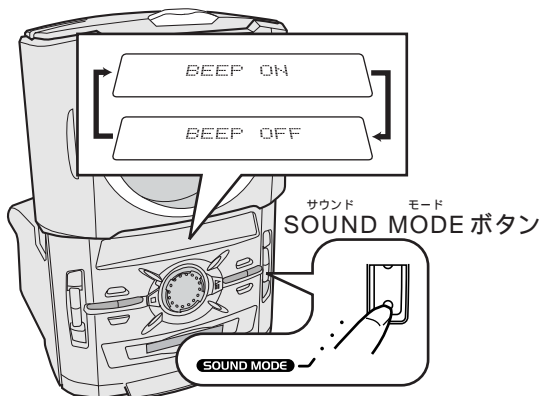
ボタン操作を音で確認できるようになっています。確認音「ピッ」を出さないようにすることができます。

確認音「ピッ」を出さないようにするには

電源を切った状態(スタンバイ状態)で、サウンド モード SOUND MODE ボタンを3秒以上押し続けると「BEEP OFF」を表示し、確認音を出さなくなります。

確認音「ピッ」を出すようにするには

確認音が出ない状態サウンド モードで、電源を切った状態(スタンバイ状態)で、SOUND MODE ボタンを3秒以上押し続けると「BEEP ON」を表示し、確認音を出すようになります。



安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



警告

〔異常時の処置〕



プラグを抜け

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この取扱説明書で使われている見出しマークについて



ご注意

やってはいけないこと、正しく動かないこと、故障の原因となることなどの注意です。



便利

知っておくと便利なことや機能などです。




ヒント

補足やアドバイスです。



おや？

一見、おかしく思われることや動きの説明です。

この取扱説明書では、リモコンマーク（）の横にあるボタンの絵は、リモコンのボタンです。

準備

操作確認音「ピッ」を消すには	2
安全上のご注意	3
付属品を確認してください	6
設置について	6
リモコンに電池を入れましょう	7
リモコン範囲	7
接続のしかた	8
基本接続	8
応用接続	10
各部のなまえ	11
リモコン	11
フロントパネル	12
表示部	13

基本操作

時計を合わせてください	14
電源を入れる / 音量を調節する	15
電源を入れる / 切る	15
音量を調節する	15
音質を変えるとき	16
トーンコントロール	16
ステレオワイド	16
バランスコントロール	16

ラジオをきく

ラジオをきく	17
放送を選ぶ	17
放送局を記憶して簡単に選ぶ	18
放送局を記憶する	18
記憶した放送局から選んで聞く	19
記憶した放送局に名前をつけて表示する	20
名前の入力のかた	20
名前を変えるとき	21

CD をきく

CD をきく前に	22
CD の扱いのかた	22
CD の入れかた	22

CD をきく	23
1 曲目からきく	23
演奏を止める	23
一時停止する	24
早送り・早戻しする	24
曲をスキップする	24
ききたい曲から演奏する	25
ダイレクトサーチ	
曲番号（トラックナンバー）を指定すると、その曲から演奏を始めます。	
ランダムに演奏する	25
ランダムプレイ	
プレーヤーが曲順を適当に変え、CD 中のすべての曲を 1 回づつ演奏すると止まります。	
演奏をくり返す	25
リピートプレイ	
1 曲または CD の全曲をくり返して演奏します。	
CD を予約演奏する	26
ききたい曲を予約する	26
プログラム演奏	
ききたい曲を予約して、ききたい順番に 24 曲まで演奏できます。	

CD の演奏内容を表示する	28
---------------	----

MD をきく

MD をきく前に	29
MD の扱いのかた	29
MD の入れかた	29

MD をきく	30
1 曲目からきく	30
演奏を止める	30
一時停止する	30
早送り・早戻しする	30
曲をスキップする	31
ランダムに演奏する	31
ランダムプレイ	
プレーヤーが曲順を適当に変え、MD 中のすべての曲を 1 回づつ演奏すると止まります。	
ききたい曲から演奏する	31
ダイレクトサーチ	
曲番号（トラックナンバー）を指定すると、その曲から演奏を始めます。	
演奏をくり返す	32
リピートプレイ	
1 曲または MD の全曲をくり返して演奏します。	

MD を予約演奏する	32
ききたい曲を予約する	32
プログラム演奏	
ききたい曲を予約して、ききたい順番に 24 曲まで演奏できます。	
MD の演奏内容を表示する	34

MD に録音する

MD 録音の予備知識	35
テープ録音との違い	35
TOC 情報で録音できる時間を確かめる	36
曲番号について	36
デジタル録音について	36
MD のシステム上の制約	37
CD を MD に録音する	38
1 曲目から順番に録音する	38
1 曲だけ選んで録音する	39
好きな曲を選んで録音する	40
デジタルコピーできない CD を録音する	42
MD に録音する	43
基本録音操作	43
演奏すると自動的に録音を始める	44
モノラルで 2 倍の時間録音する	44
1 回の録音を 1 曲として録音する	45

MD を編集する

MD を編集する	46
MD の編集でできること	46
曲を 2 つに分ける	47
デバインド機能	
録音後に 1 つの曲を 2 つに分けます。	
2 つの曲を 1 曲にする	47
コンパイン機能	
隣り合った曲をつないで、1 曲にまとめます。	
1 つの曲を移動する	48
ムーブ機能	
1 つの曲を移動して、曲順を変えることができます。	
曲を並べかえる	48
プログラムムーブ機能	
好みの順番に曲順を変えることができます。	

曲を消す	50
1 つの曲を消す	50
トラックイレース機能	
選択した 1 つの曲を消すことができます。	
MD の全曲を消す	50
オールイレース機能	
MD に録音したすべての曲を一度に消すことができます。	
MD に行った編集操作を取り消す	51
取り消せる場合 / 取り消せない場合	51
直前の編集操作を取り消す	51
アンドゥー機能	
直前に行った編集操作を取り消し、元に戻すことができます。	
ディスクや曲に名前をつけて表示する	52
名前の入力のかた	52
名前を変えるとき	53

タイマー動作

決めた時刻に演奏する・録音する	54
決めた時刻に演奏する	54
目覚ましタイマー	
決めた時刻に演奏を始めて終わります。	
決めた時刻に録音する	54
タイマー録音	
決めた時刻に録音を始めて終わります。	
決めた時間後に電源を切る	56
スリープタイマー	
決めた時間後に電源を切ります。	
タイマーを同時に使ったとき	56

故障？

故障？ ちょっと調べてください	57
こんな表示が出たときは	59

その他

仕様	60
保証とアフターサービス	61
索引	62
デモ（デモンストレーション）表示について	ウラ表紙

省エネルギー設計製品

本製品は、待機時消費電力を 1 W 以下に抑えた設計となっております。

準備

操作確認音「ピッ」を消すには	2
安全上のご注意	3
付属品を確認してください	6
設置について	6
リモコンに電池を入れましょう	7
リモコン範囲	7
接続のしかた	8
基本接続	8
応用接続	10
各部のなまえ	11
リモコン	11
フロントパネル	12
表示部	13

基本操作

時計を合わせてください	14
電源を入れる / 音量を調節する	15
電源を入れる / 切る	15
音量を調節する	15
音質を変えるとき	16
トーンコントロール	16
ステレオワイド	16
バランスコントロール	16

ラジオをきく

ラジオをきく	17
放送を選ぶ	17
放送局を記憶して簡単に選ぶ	18
放送局を記憶する	18
記憶した放送局から選んで聞く	19
記憶した放送局に名前をつけて表示する	20
名前の入力のかた	20
名前を変えるとき	21

CD をきく

CD をきく前に	22
CD の扱いのかた	22
CD の入れかた	22

CD をきく	23
1 曲目からきく	23
演奏を止める	23
一時停止する	24
早送り・早戻しする	24
曲をスキップする	24
ききたい曲から演奏する	25
ダイレクトサーチ	
曲番号（トラックナンバー）を指定すると、その曲から演奏を始めます。	
ランダムに演奏する	25
ランダムプレイ	
プレーヤーが曲順を適当に変え、CD 中のすべての曲を 1 回づつ演奏すると止まります。	
演奏をくり返す	25
リピートプレイ	
1 曲または CD の全曲をくり返して演奏します。	

CD を予約演奏する	26
ききたい曲を予約する	26
プログラム演奏	
ききたい曲を予約して、ききたい順番に 24 曲まで演奏できます。	

CD の演奏内容を表示する	28
---------------	----

MD をきく

MD をきく前に	29
MD の扱いのかた	29
MD の入れかた	29

MD をきく	30
1 曲目からきく	30
演奏を止める	30
一時停止する	30
早送り・早戻しする	30
曲をスキップする	31
ランダムに演奏する	31
ランダムプレイ	
プレーヤーが曲順を適当に変え、MD 中のすべての曲を 1 回づつ演奏すると止まります。	
ききたい曲から演奏する	31
ダイレクトサーチ	
曲番号（トラックナンバー）を指定すると、その曲から演奏を始めます。	
演奏をくり返す	32
リピートプレイ	
1 曲または MD の全曲をくり返して演奏します。	

MD を予約演奏する	32
ききたい曲を予約する	32
プログラム演奏	
ききたい曲を予約して、ききたい順番に 24 曲まで演奏できます。	
MD の演奏内容を表示する	34

MD に録音する

MD 録音の予備知識	35
テープ録音との違い	35
TOC 情報で録音できる時間を確かめる	36
曲番号について	36
デジタル録音について	36
MD のシステム上の制約	37
CD を MD に録音する	38
1 曲目から順番に録音する	38
1 曲だけ選んで録音する	39
好きな曲を選んで録音する	40
デジタルコピーできない CD を録音する	42
MD に録音する	43
基本録音操作	43
演奏すると自動的に録音を始める	44
モノラルで 2 倍の時間録音する	44
1 回の録音を 1 曲として録音する	45

MD を編集する

MD を編集する	46
MD の編集でできること	46
曲を 2 つに分ける	47
デバインド機能	
録音後に 1 つの曲を 2 つに分けます。	
2 つの曲を 1 曲にする	47
コンパイン機能	
隣り合った曲をつないで、1 曲にまとめます。	
1 つの曲を移動する	48
ムーブ機能	
1 つの曲を移動して、曲順を変えることができます。	
曲を並べかえる	48
プログラムムーブ機能	
好みの順番に曲順を変えることができます。	

曲を消す	50
1 つの曲を消す	50
トラックイレース機能	
選択した 1 つの曲を消すことができます。	
MD の全曲を消す	50
オールイレース機能	
MD に録音したすべての曲を一度に消すことができます。	
MD に行った編集操作を取り消す	51
取り消せる場合 / 取り消せない場合	51
直前の編集操作を取り消す	51
アンドゥー機能	
直前に行った編集操作を取り消し、元に戻すことができます。	

ディスクや曲に名前をつけて表示する	52
名前の入力のかた	52
名前を変えるとき	53

タイマー動作

決めた時刻に演奏する・録音する	54
決めた時刻に演奏する	54
目覚ましタイマー	
決めた時刻に演奏を始めて終わります。	
決めた時刻に録音する	54
タイマー録音	
決めた時刻に録音を始めて終わります。	
決めた時間後に電源を切る	56
スリープタイマー	
決めた時間後に電源を切ります。	
タイマーを同時に使ったとき	56

故障？

故障？ ちょっと調べてください	57
こんな表示が出たときは	59

その他

仕様	60
保証とアフターサービス	61
索引	62
デモ（デモンストレーション）表示について	ウラ表紙

省エネルギー設計製品

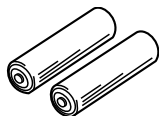
本製品は、待機時消費電力を 1 W 以下に抑えた設計となっております。

付属品を確認してください

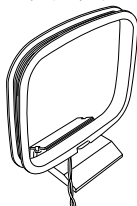
リモコン × 1



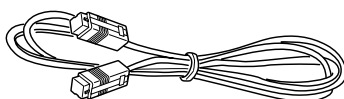
単 3 形乾電池 × 2



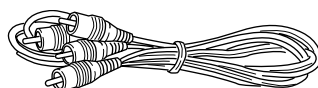
AM アンテナ × 1



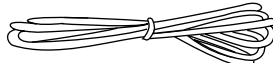
システムコード × 1



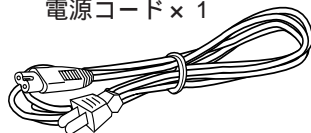
ピンプラグコード × 1



FM アンテナ × 1



電源コード × 1



取扱説明書（本書） × 1
安全上のご注意 × 1
保証書 × 1
ご相談窓口・修理窓口の
ご案内 × 1

設置について

本機の性能を十分に引き出すため、必ず水平で安定な場所に設置してください。

直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したり、機器が故障する原因になります。

熱を発生するアンプなどの上に置いて長時間使用すると、ディスクや本体に悪い影響を与えますので、発熱体の上に直接置かないでください。

放熱のため、本機の上側は 30 cm 程度、左右と後側は 15 cm 程度あけてください。

テレビから離して設置してください。近くに置いた場合に、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。このようなときは、屋外アンテナを使用するか本機の電源を切ってください。

本機がテレビからの影響を受けて、雑音を生じることもあります。この場合は、テレビの電源を切ってください。本機のスピーカーシステムは防磁設計（EIAJ）*ですのでテレビと組み合わせても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15～30分後再びスイッチをいれてください。その後も色むらが残るようでしたら、スピーカーシステムをテレビから離して使用してください。

*「防磁設計（EIAJ）」とは（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。



ご注意

右スピーカーを本システム以外に接続しないでください。故障、火災の原因となることがあります。



ご注意

CD MD チューナーにスピーカーシステムなどを密着させないでください。CDカバーの動きが妨げられて故障の原因になります。

CD レンズクリーナーについて

ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときには、「アフターサービス」をお読みのうえ、修理をご依頼ください。なお、市販されている CD レンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもございますのでご使用を控えてください。



結露について

本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。



製品のお手入れ

お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5～6 倍に薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると、印刷・塗装がはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。



リモコンに電池を入れましょう

準備

基本操作

ラジオをきく

CDをきく

MDをきく

MDに録音する

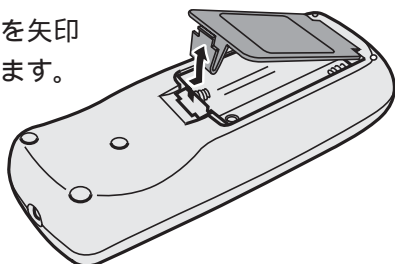
MDを編集する

タイマー動作

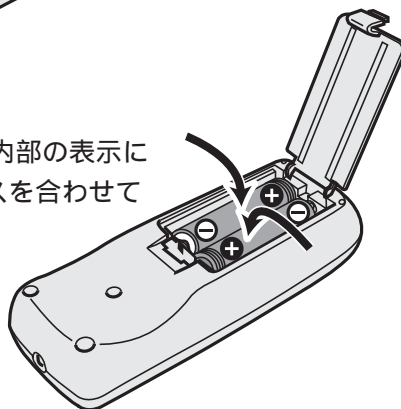
故障?

その他

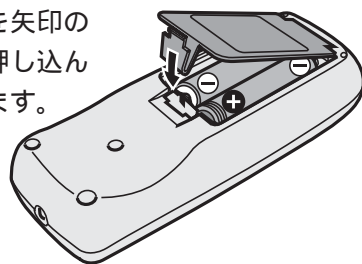
- 1 リモコンの裏ぶたを矢印の方向に引き上げます。



- 2 単3形乾電池を内部の表示にプラス/マイナスを合わせてはめ込みます。



- 3 裏ぶたを矢印の方向に押し込んで閉めます。

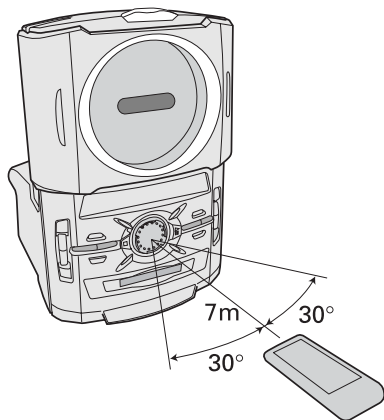


ご注意

乾電池を誤って使用すると液もれや破裂するなどの危険があります。次の点についてご注意ください。(電池の注意事項もよく見てください。)

1. 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケース内の表示通りに正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 長い間(1ヶ月以上)使用しないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。

リモコン範囲



リモコンの操作可能範囲は、リモコン受光部との距離が約7m、角度が左右約30度までです。



ひと言

- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 本体受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯から離してください。

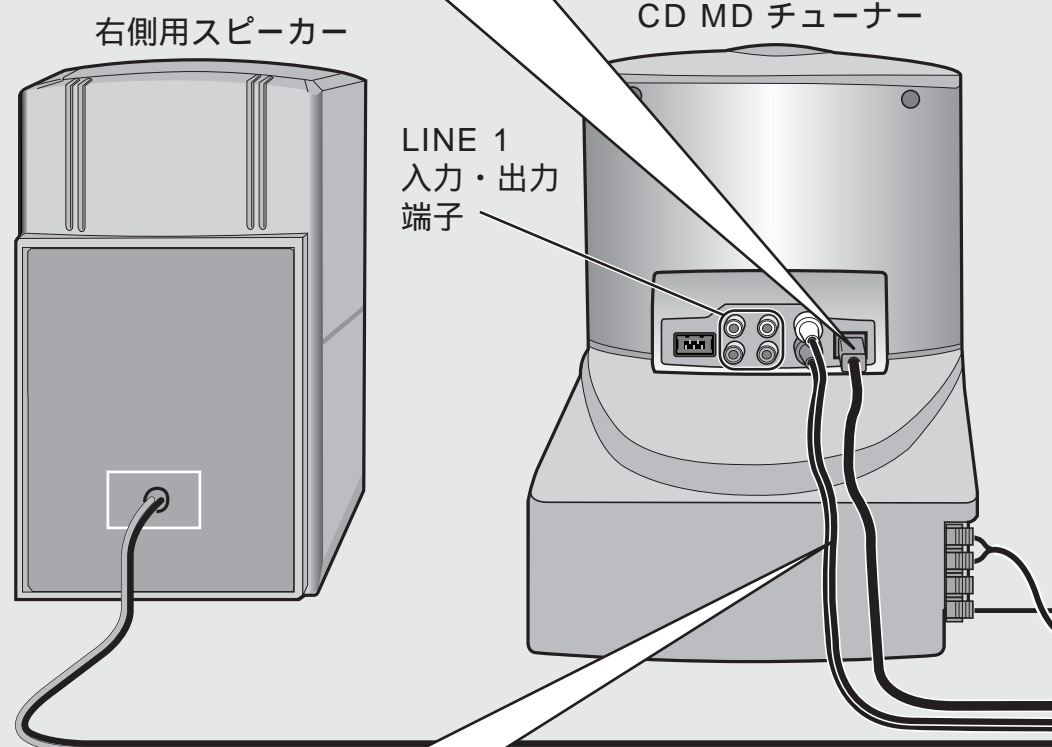
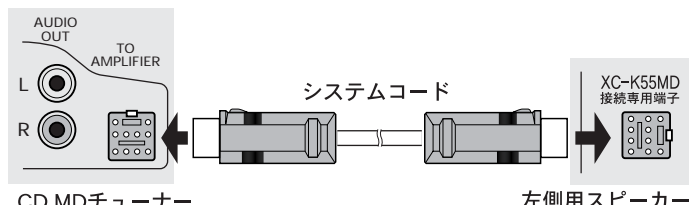


機器の接続をする場合、または変更する場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

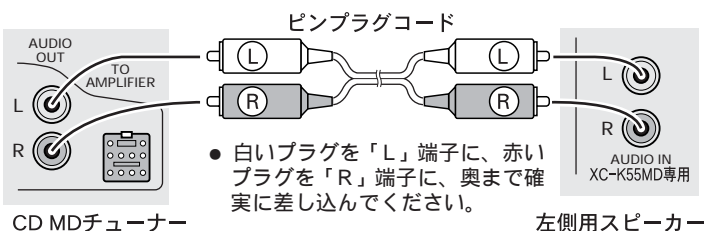
基本接続

スピーカーシステムは、後面に電源コードを接続する方を、正面に向かって左側に置きます。後面から直接コードが出ている方を右側に置きます。

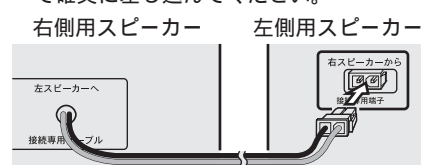
- 1 システムコードをつなぐ。**
CD MDチューナーの「TO AMPLIFIER」端子と左側用スピーカーの「XC-K55MD 接続専用端子」を、付属のシステムコードでつなぎます。
●プラグとソケットの向きを合わせ、奥まで確実に差し込んでください。



- 2 ピンプラグコードをつなぐ。**
CD MDチューナーの「AUDIO OUT」端子と左側用スピーカーの「XC-K55MD 専用 AUDIO IN」端子を、付属のピンプラグコードでつなぎます。



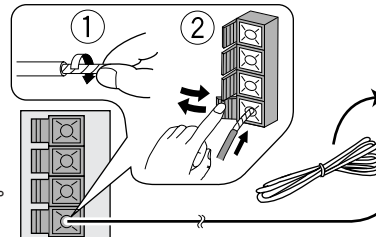
- 3 スピーカーコードをつなぐ。**
右側用スピーカーから出ているスピーカーコードのプラグを左側用スピーカーのソケットにつなぎます。
●プラグとソケットの向きを合わせ、奥まで確実に差し込んでください。



FMアンテナ

4 FMアンテナをつなぐ。

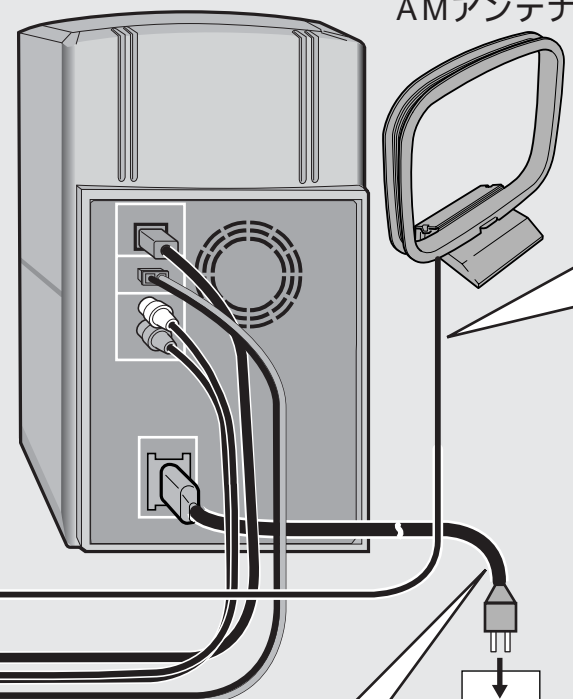
- CD MDチューナーの左側面の「FM アンテナ」端子に、付属のFMアンテナをつなぎます。
① コードの先のビニールをねじりながら取ります。
② アンテナ端子のレバーを押して端子を開き、アンテナコードを差し込み、レバーを戻します。
③ アンテナコードを軽く引いてみて、抜けないことを確認します。コードはまるめずに伸ばしてください。



FMアンテナ

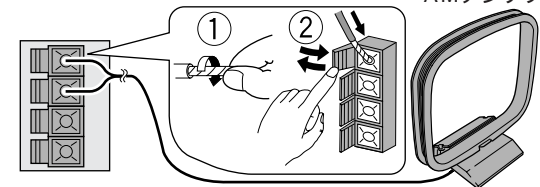
アンテナ端子のアースマーク(⏏)は、アンテナを接続した場合に雑音の低減をはかるためのものです。安全のアースではありません。

左側用スピーカー



5 AMアンテナをつなぐ。

- CD MDチューナーの左側面の「AM アンテナ」端子に、付属のAMアンテナをつなぎます。
① コードの先のビニールをねじりながら取ります。
② アンテナ端子のレバーを押して端子を開き、アンテナコードを差し込み、レバーを戻します。
③ アンテナコードを軽く引いてみて、抜けないことを確認してください。



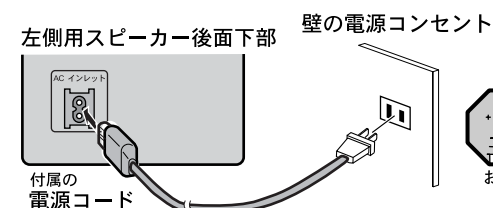
AMアンテナの組み立てかた

- 1 台座の部分を、矢印の方向に折り曲げる。
- 2 ループの部分を台座に差し込む。
- 3 壁などに取り付ける場合は、ネジ止めて固定してから、手順2を行う。

アンテナは本機や金属物から離し、放送を聞きながら動かして、最もよく聞こえる状態で固定します。パソコンやテレビなどからできるだけ離してください。

6 最後に電源コードをつなぐ。

すべての接続が終わってから、左側用スピーカーと壁のコンセントを付属の電源コードでつなぎます。



電源コードを接続すると、表示パネルにデモ（デモンストレーション）表示を行います。デモ表示についてはウラ表紙をご覧ください。

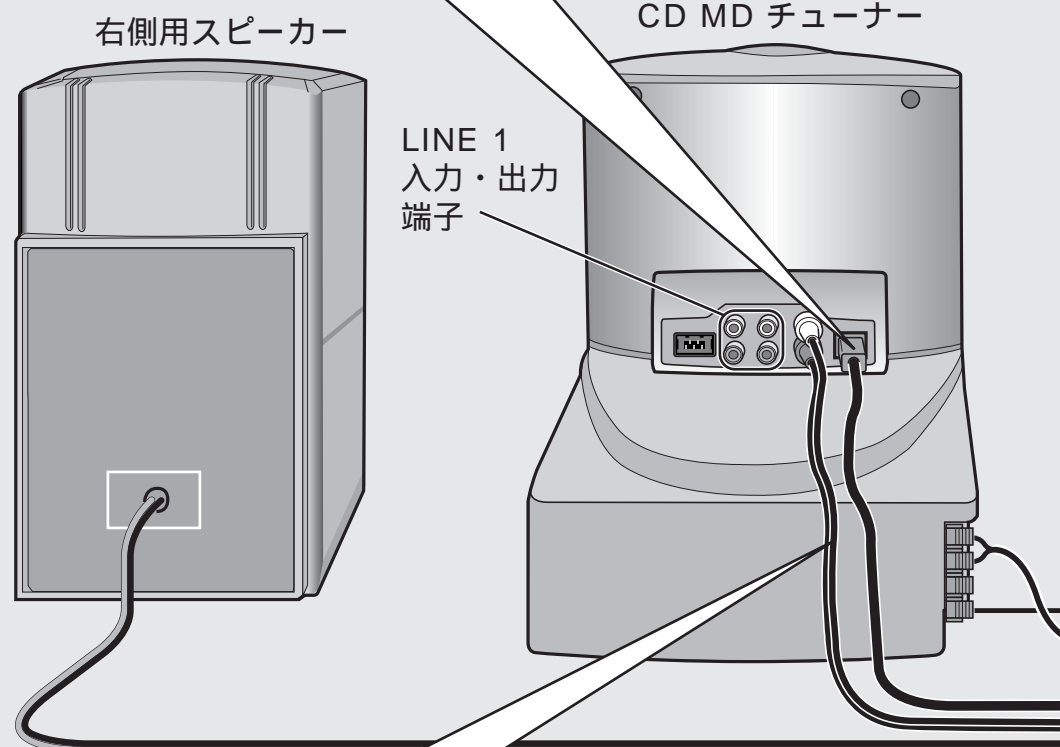
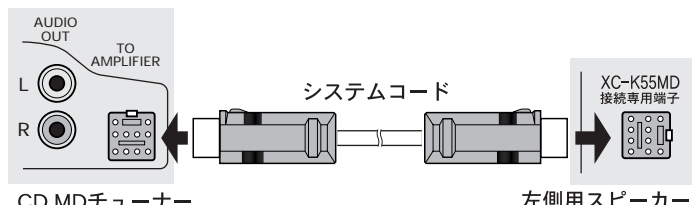


機器の接続をする場合、または変更する場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

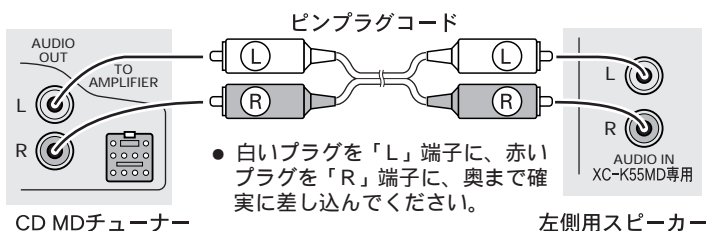
基本接続

スピーカーシステムは、後面に電源コードを接続する方を、正面に向かって左側に置きます。後面から直接コードが出ている方を右側に置きます。

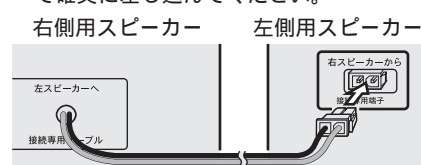
- 1** システムコードをつなぐ。
CD MDチューナーの「TO AMPLIFIER」端子と左側用スピーカーの「XC-K55MD 接続専用端子」を、付属のシステムコードでつなぎます。
●プラグとソケットの向きを合わせ、奥まで確実に差し込んでください。



- 2** ピンプラグコードをつなぐ。
CD MDチューナーの「AUDIO OUT」端子と左側用スピーカーの「XC-K55MD 専用 AUDIO IN」端子を、付属のピンプラグコードでつなぎます。



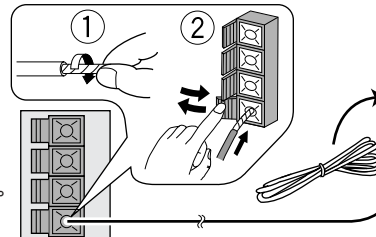
- 3** スピーカーコードをつなぐ。
右側用スピーカーから出ているスピーカーコードのプラグを左側用スピーカーのソケットにつなぎます。
●プラグとソケットの向きを合わせ、奥まで確実に差し込んでください。



FMアンテナ

4 FMアンテナをつなぐ。

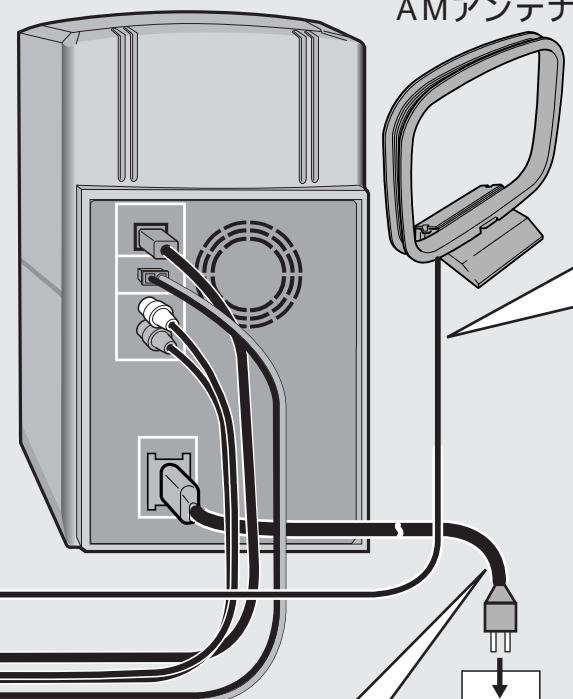
- CD MDチューナーの左側面の「FM アンテナ」端子に、付属のFMアンテナをつなぎます。
① コードの先のビニールをねじりながら取ります。
② アンテナ端子のレバーを押して端子を開き、アンテナコードを差し込み、レバーを戻します。
③ アンテナコードを軽く引いてみて、抜けないことを確認します。コードはまるめずに伸ばしてください。



FMアンテナ

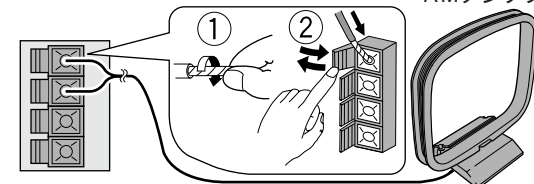
アンテナ端子のアースマーク(⏏)は、アンテナを接続した場合に雑音の低減をはかるためのものです。安全のアースではありません。

左側用スピーカー



5 AMアンテナをつなぐ。

- CD MDチューナーの左側面の「AM アンテナ」端子に、付属のAMアンテナをつなぎます。
① コードの先のビニールをねじりながら取ります。
② アンテナ端子のレバーを押して端子を開き、アンテナコードを差し込み、レバーを戻します。
③ アンテナコードを軽く引いてみて、抜けないことを確認してください。



AMアンテナ

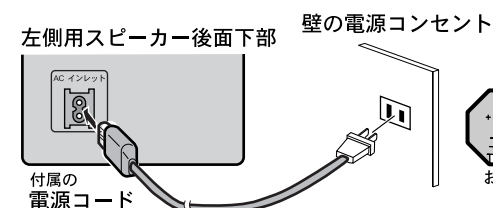
AMアンテナの組み立てかた

- 1 台座の部分を、矢印の方向に折り曲げる。
- 2 ループの部分を台座に差し込む。
- 3 壁などに取り付ける場合は、ネジ止めて固定してから、手順2を行う。

アンテナは本機や金属物から離し、放送を聞きながら動かして、最もよく聞こえる状態で固定します。パソコンやテレビなどからできるだけ離してください。

6 最後に電源コードをつなぐ。

すべての接続が終わってから、左側用スピーカーと壁のコンセントを付属の電源コードでつなぎます。



電源コードを接続すると、表示パネルにデモ（デモンストレーション）表示を行います。デモ表示についてはウラ表紙をご覧ください。

応用接続

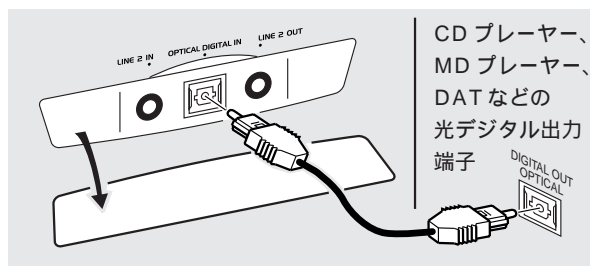
光デジタル入力端子

- フロントパネル下の端子カバーをはずすと、中央に「OPTICAL DIGITAL IN」ジャックがあります。
- これは、内部のMDレコーダーの光デジタル信号入力端子です。MDレコーダーで録音するときに、入力セクターの「LINE 1, 2 OPT」ボタンで「OPT DIGITAL」を選んで使います。
- 別売の光ファイバーケーブルを使ってCDプレーヤー、MDプレーヤーやDATの光デジタル出力端子とつなぎます。



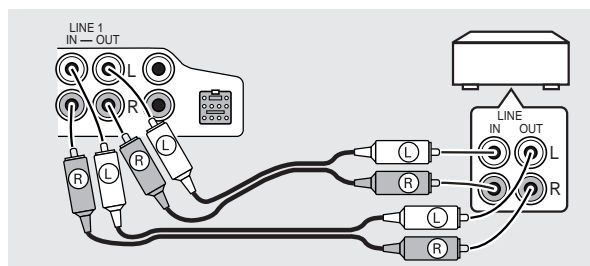
ご注意

光デジタル入力端子に機器を接続した状態で、ラジオ放送の受信を行うと、ノイズ発生などの原因になることがありますので、接続ケーブルを外すか接続機器の電源を切ってください。



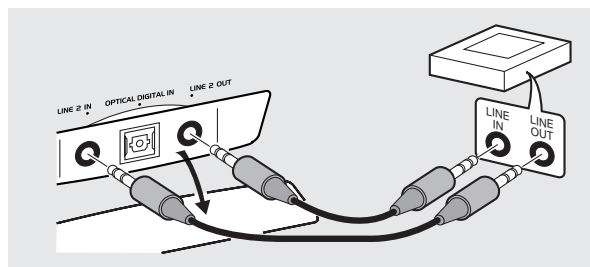
LINE 1 入力・出力端子

- CD MDチューナーまたはCDチューナーデッキのリアパネルに、「LINE 1 IN」ジャックと「LINE 1 OUT」ジャックがあります。
- 「LINE 1 IN」は、入力セクターの「LINE 1, 2 OPT」ボタンで「LINE 1」を選んで使います。
- 別売のピンプラグコードを使ってカセットテープデッキ、ビデオデッキやDATなどのライン入・出力端子とつなぎます。



LINE 2 入力・出力端子

- フロントパネル下の端子カバーをはずすと、左に「LINE 2 IN」ジャック、右に「LINE 2 OUT」ジャックがあります。
- 「LINE 2 IN」は、入力セクターの「LINE 1, 2 OPT」ボタンで「LINE 2」を選んで使います。
- 別売のステレオミニプラグコードを使ってポータブルMDレコーダーやカセットテープレコーダーなどのライン入・出力端子とつなぎます。

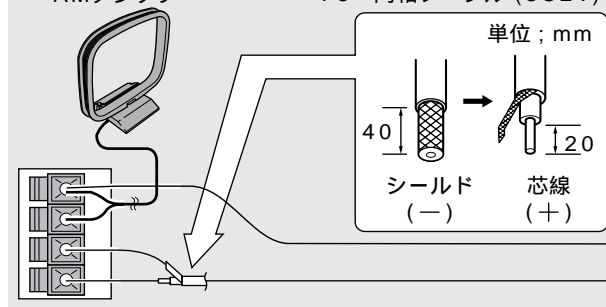


付属のアンテナでよく聞こえないとき

AM 外部アンテナ、市販のFM 屋外アンテナを接続します。

AMアンテナ

75 同軸ケーブル (3C2V)

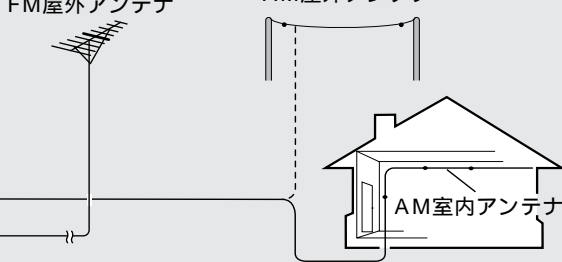


ご注意

AM 外部アンテナを接続しても、付属の AM アンテナをはずさないでください。(はずすと AM 放送は聞けません。)

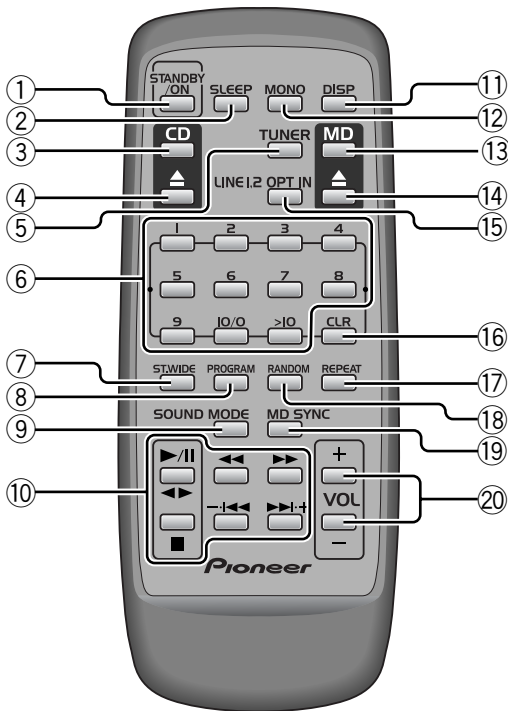
市販の FM 屋外アンテナ

AM 屋外アンテナ



各部のなまえ

リモコン



① 電源ボタン(STANDBY/ON)

電源をオン / オフするときに使います。

押してオンになると音量表示を行います。



押してオフになると本体のスタンバイインジケータが点灯します。



② スリープボタン(SLEEP)

スリープタイマーの設定・解除に使います。

③ CD ボタン(CD)

CD が入っていれば CD の演奏を始めます。

④ CD カバーボタン(CD▲)

CD スライドカバーを開け閉めします。

⑤ チューナーボタン(TUNER)

選局してあればラジオ放送が流れます。

⑥ 数字ボタン(1 ~ 9, 10/0, >10)

曲を選んだり放送を選んだりします。

⑦ ステレオワイドボタン(ST.WIDE)

ステレオ演奏の拡がり感を増します。



この取扱説明書では、リモコンマーク()の横にあるボタンの絵は、リモコンのボタンです。

⑧ プログラムボタン(PROGRAM)

プログラム演奏のときに使います。

⑨ サウンドモードボタン(SOUND MODE)

トーンコントロールとバランスコントロールを選びます。

⑩ CD/MD/ ラジオ操作ボタン

[CD/MD 操作時]

(CD ボタン ③ または MD ボタン ⑬ を押した後)

▶/⏸ : 再生 / 一時停止ボタン

■ : 停止ボタン

◀, ▶ : 早戻し / 早送りボタン

◀◀, ▶▶ : 頭出しボタン

[ラジオ 操作時]

(TUNER ボタン ⑤ を押した後)

◀, ▶ : 選局ボタン

-, + : プリセット選局ボタン

⑪ ディスプレイボタン(DISPLAY)

表示情報を切り換えます。

⑫ モノボタン(MONO)

FM 放送をモノラルにして雑音を減らします。

⑬ MD ボタン(MD)

MD が入っていれば、MD の演奏を始めます。

⑭ MD 取出しボタン(MD▲)

MD が出てきます。

⑮ ライン 1 / ライン 2 / 光入力ボタン

(LINE 1, 2 OPT IN)

ライン 1、ライン 2、光デジタル入力端子を選びます。

⑯ クリアーボタン(CLR)

プログラム演奏の登録内容を消します。

⑰ リピートボタン(REPEAT)

リピート演奏のときに使います。

⑱ ランダムボタン(RANDOM)

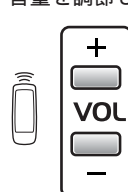
ランダム演奏のときに使います。

⑲ MD シンクロ録音ボタン(MD SYNC)

MD のシンクロ録音のときに使います。

⑳ ボリューム調節ボタン(VOL +, -)

音量を調節します。



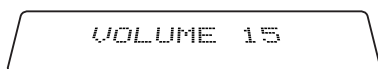
(+)側を押すと大きくなります。

(-)側を押すと小さくなります。

各部のなまえ

フロントパネル

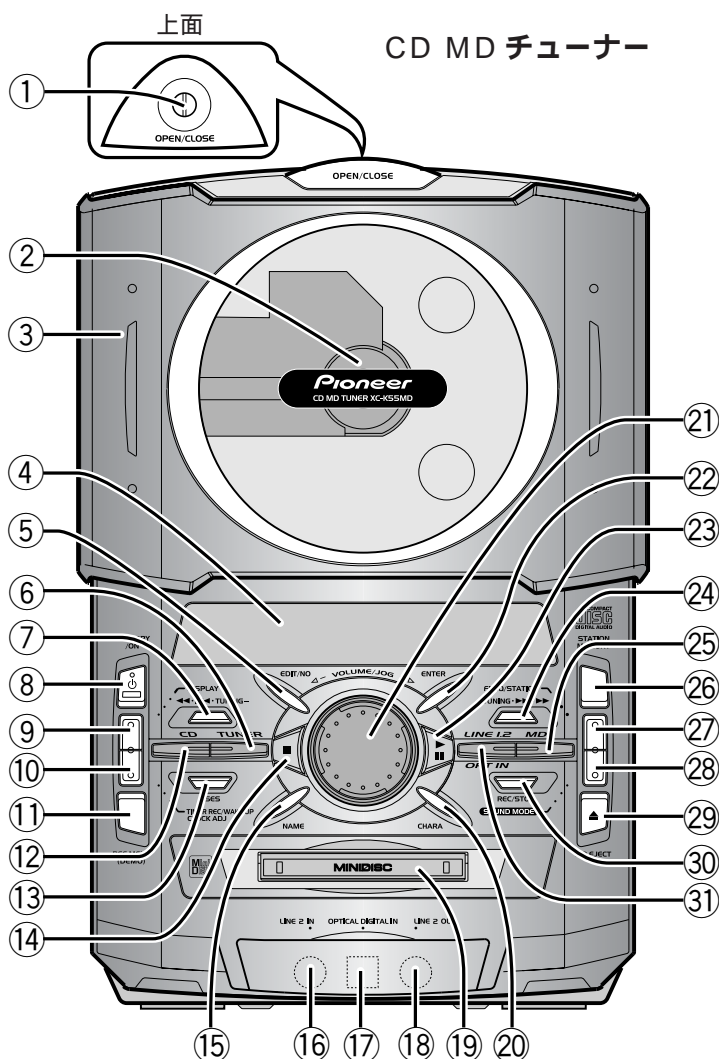
- ① CD カバーセンサー(オープン/クローズ)
- ② CD 回転台
- ③ CD スライドカバー
- ④ 表示パネル
- ⑤ 編集ボタン(EDIT/NO)
- ⑥ ラジオ放送ボタン(TUNER)
- ⑦ 早戻し/頭出し/選局マイナスボタン
(◀◀・◀・TUNING -)
- ⑧ 電源ボタン(STANDBY/ON)
電源をオン/オフ(スタンバイ)するときに
使います。
押してオンになると音量表示を行います。



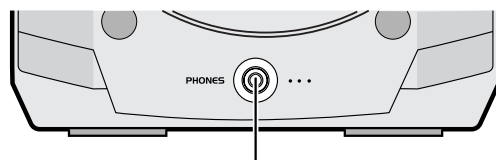
押してオフになるとボタンの中の
スタンバイインジケータが点灯
します。



- ⑨ 表示ボタン(DISPLAY)
- ⑩ タイマー録音/タイマー再生/時計
合わせボタン(TIMER REC/WAKE
UP/CLOCK ADJ)
- ⑪ 録音メニューボタン(REC MENU)
- ⑫ CD ボタン(CD)
- ⑬ 自動編集録音ボタン(ASES)
- ⑭ 停止ボタン(■)
- ⑮ ネームボタン(NAME)
- ⑯ ライン 2 入力ジャック(LINE 2 IN)
- ⑰ 光デジタル入力ジャック
(OPTICAL DIGITAL IN)
- ⑱ ライン 2 出力ジャック(LINE 2 OUT)
- ⑲ MD 挿入口
- ⑳ キャラクターボタン(CHARA)
- ㉑ ボリューム/ジョグ(VOLUME/JOG)
- ㉒ エンターボタン(ENTER)
- ㉓ 再生/一時停止ボタン(▶/⏸)
- ㉔ 選局プラス/頭出し/早送りボタン
(TUNING + ・▶▶▶▶▶)
- ㉕ MD ボタン(MD)
- ㉖ ステーションメモリーボタン
(STATION MEMORY)
- ㉗ 周波数/ステーションボタン(FREQ/STATION)
- ㉘ サウンドモードボタン(SOUND MODE)
- ㉙ MD 取出しボタン(MD EJECT ▲)
- ㉚ 録音/停止ボタン(REC/STOP)
- ㉛ ライン 1 / ライン 2 / 光入力ボタン
(LINE 1, 2 OPT IN)

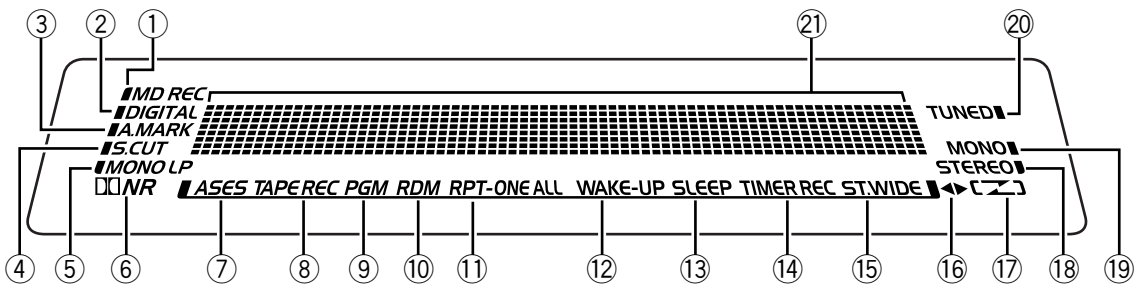


左側用スピーカーの下部



ヘッドホンジャック(PHONES)
ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーから音は出ま
せん。

表示部



- ① MDレコーダーが録音中に点灯します。
- ② MDレコーダーがデジタル入力信号モードのときに点灯します。
- ③ MDレコーダーがオートマーク動作のときに点灯します。
- ④ MDレコーダーがスペースカット動作のときに点灯します。
- ⑤ MDレコーダーがモノラルLPモードのときに点灯します。
- ⑥ 別売のカセットデッキのドルビーノイズリダクションがオンのときに点灯します。
- ⑦ ASES（アセス＝オート・シンクロ・エディッティング・システム）を使っているときに点灯します。
- ⑧ オプションのカセットデッキが録音モードのときに点灯します。
- ⑨ プログラムモードのときに点灯します。
- ⑩ ランダム再生のときに点灯します。
- ⑪ リピート再生のときに点灯します。
- ⑫ タイマー再生を設定すると点灯します。
- ⑬ スリープタイマーを使うときに点灯します。
- ⑭ タイマー録音を設定すると点灯します。
- ⑮ ステレオワイド音声モードのときに点灯します。
- ⑯ 別売のカセットデッキの録音・再生方向を示します。
- ⑰ 別売のカセットデッキのリバースモードを示します。
- ⑱ FM放送をステレオで受信しているときに点灯します。
- ⑲ FM放送をモノラルで受信するモードのときに点灯します。
- ⑳ ラジオ放送を受信していることを示します。
- ㉑ 周波数や主な動作状態、名称などを表示します。

時計を合わせてください



- 時計を合わせていないと、タイマー機能を使用することはできません。
- 停電や電源コードを抜いてしまうと、電源を入れたときに表示部が点滅しています。この場合は時計合わせを行ってください。

- 最初に電源コードを壁のコンセントに差し込むと、自動的にデモ(デモンストレーション)表示を行います(ウラ表紙参照)。電源ボタン(STANDBY/ON)を押すとデモ表示が止まり、オン状態になります。
- この時計は24時間表示です(午後1時を13:00と表示)。
- 時計合わせは、リモコンではできません。

例) 午前 10 時 30 分に合わせる場合。

1

クロック アジャスト
CLOCK ADJ ボタンを押す。

2

ジョグを回して "CLOCK ADJUST"
を表示させる。

CLOCK ADJ

3

エンター
ENTER ボタンを押す。

CLOCK 10:00

4

ジョグを回して "時" を選ぶ。

例は "10"
にします。

CLOCK 10:00

5

エンター
ENTER ボタンを押す。

CLOCK 10:00

6

ジョグを回して "分" を選ぶ。

例は "30"
にします。

CLOCK 10:30

7

エンター
ENTER ボタンを押す。

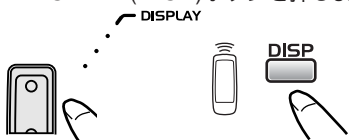
- ボタンを押した時点で時計が動きはじめます。

CLOCK 10:30

■ 動作中に時刻を表示する

には....

ディスプレイ
DISPLAY(DISP)ボタンを押します。



CLOCK 10:30



電源がオフ(スタンバイ)のときに
ディスプレイ
DISPLAY(DISP)ボタンを押すと、
約 5 秒間、時刻を表示します。



時報を聞いてボタンを押すと、正確に合わせることが
できます。

CLOCK ADJUST ボタン

1

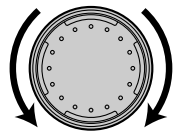
A

TIMER REC/WAKE UP
CLOCK ADJ

ジョグ

ENTER ボタン

2, 4, 6



3, 5, 7

ENTER



電源を入れる / 音量を調節する

準備

基本操作

ラジオをきく

CDをきく

MDをきく

MDに録音する

MDを編集する

タイマー動作

故障?

その他

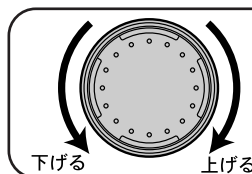
電源を入れる / 切る

電源ボタン(スタンバイ オン)を押す。
オンになると表示部に音量表示を行います。

VOLUME 15

オフ(スタンバイ)になるとボタンの中の
スタンバイインジケータが点灯します。

電源ボタン
(STANDBY/ON)



ジョグ

停止(■)ボタン

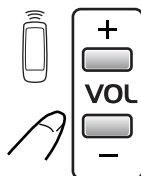
音量を調節する

ジョグを右にまわすと音が大きくなり、左にまわすと小さくなります。

リモコンでは

(+) 側を押すと大きくなります。

(-) 側を押すと小さくなります。



ひと言

ジョグを別の用途で使っているときに、音の大きさを
変えるときは、停止(■)ボタンを押してからジョグ
をまわすと音量を調節できます。

ダイレクトパワーオン

電源オフ(スタンバイ)のときに、操作ボタンを押すと
電源が入り、それぞれの動作をはじめます。

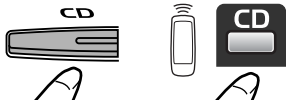
チューナー
TUNER ボタンを押す。

選局してあれば、
ラジオ放送が流れます。



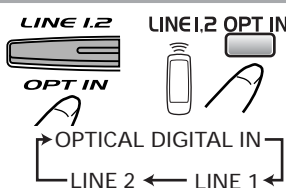
CD ボタンを押す。

CD が入っていれば、
CD の演奏をはじめます。



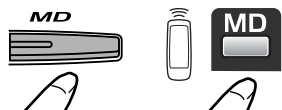
ライン オプティカル イン
LINE 1, 2 OPT IN
ボタンを押す。

LINE 1、LINE 2、OPTICAL
DIGITAL IN に接続した機器を
聞くことができます。



MD ボタンを押す。

MD が入っていれば、
MD の演奏をはじめます。



CD カバーセン

サーに触れる。

電源がオンし、
CD スライドカバーが開きます。

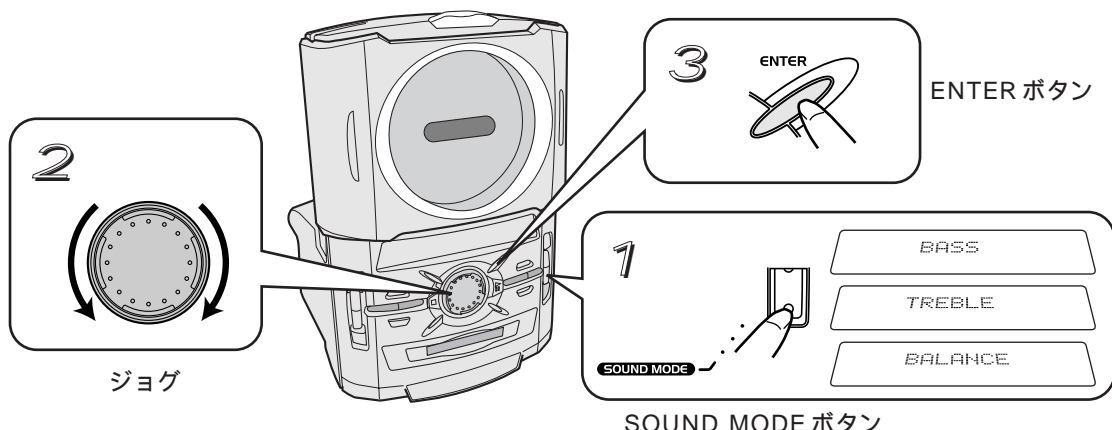
(リモコンではCD カバーボタンを押す。)



ひと言

電源オフ(スタンバイ)のときに、MD を
差し込んでも電源は入りません。

音質を変えるとき



トーンコントロール

低音(バス)と高音(トレブル)の音量を調節します。

- 1 サウンド モード
SOUND MODE ボタンを押して
"BASS" (低音) または "TREBLE" (高音) を表示させる。
→ "BASS" → "TREBLE" ←
→ "BALANCE" ←

- 2 ジョグを回して "BASS" (低音) または "TREBLE" (高音) を調節する。
(リモコンでは -・I◀◀ ボタンまたは ▶▶・+ ボタンを押して調節します。)
- 4 BASS +4
- ~ + 4
- 4 TREBLE -4
- ~ + 4

- 3 エンター
ENTER ボタンを押す。
この操作を行わなくても、5 秒後に自動的に通常表示にもどります。

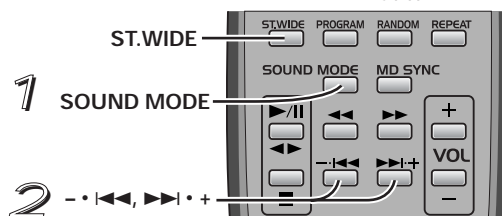
ステレオワイド

ステレオ演奏の拡がりを増すことができます。

リモコンの ST.WIDE
ステレオワイド
ボタンを押して、表示部の "ST.WIDE"
インジケータを点灯する。
ボタンを押す度にオン / オフします。



リモコン操作



バランスコントロール

右側と左側の音の大きさのバランスを調節します。

- 1 サウンド モード
SOUND MODE ボタンを押して
"BALANCE" を表示させる。
→ "BASS" → "TREBLE" ←
→ "BALANCE" ←
 - 2 ジョグを回して左右の音の大きさのバランスを調節する。
(リモコンでは -・I◀◀ ボタンまたは ▶▶・+ ボタンを押して調節します。)
- 1 ~ 10 RIGHT 10
- CENTER
- 1 ~ 10 LEFT 1

- 3 エンター
ENTER ボタンを押す。
この操作を行わなくても、5 秒後に自動的に通常表示にもどります。

ラジオをきく

準備

基本操作

ラジオをきく

CDをきく

MDをきく

MDに録音する

MDを編集する

タイマ動作

故障?

その他



アンテナは必ず接続してください。アンテナを接続していないと、ラジオを聞くことはできません。

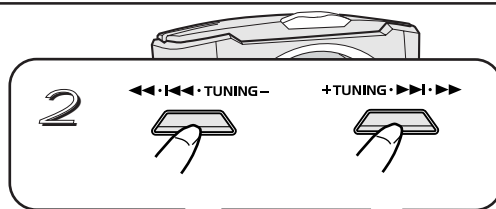
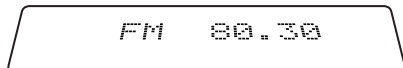


光デジタル入力端子に機器を接続した状態で、ラジオ放送の受信を行うと、ノイズ発生などの原因になることがありますので、接続ケーブルを外すか接続機器の電源を切ってください。

放送を選ぶ

1

チューナー
TUNER ボタンを押して、AM 放送または FM 放送を選ぶ。
押すごとに AM と FM に切り換わります。



TUNER ボタン

1



2

選局ボタン (◀◀または▶▶) を押して周波数を合わせる。
次に示す 3 通りのやり方があります。

マニュアルチューニング

選局ボタン (◀◀または▶▶) を短く押して離すと、押すごとに、1 ステップずつ周波数が変化します。

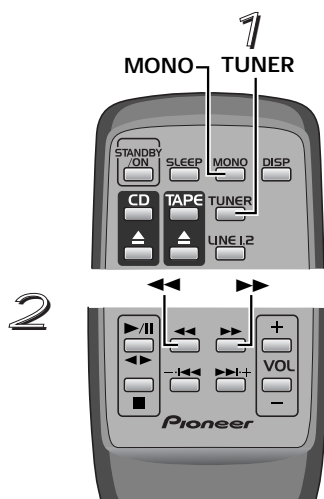
放送を受信すると、表示パネルの TUNED インジケーターが点灯します。

オートチューニング

選局ボタン (◀◀または▶▶) を周波数が動きはじめるまで押して離します。放送を受信すると自動的に止まり、表示パネルの TUNED インジケーターが点灯します。

ハイスピードマニュアルチューニング

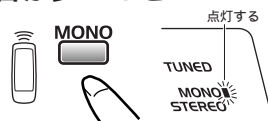
選局ボタン (◀◀または▶▶) を押し続けます。
ボタンを押している間、連続して周波数が変化し、指を離すと止まります。



2

FM ステレオ放送の雑音が多いとき

リモコンの MONO ボタンを押して表示部の MONO インジケーターを点灯させます。



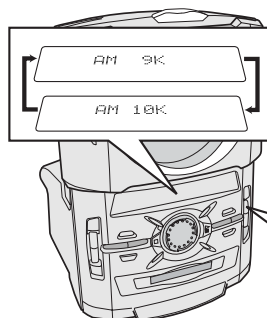
- ステレオ放送がモノラルになりますが雑音が減って聞きやすくなります。
- もう一度ボタンを押して MONO インジケーターを消灯すれば、ステレオ放送のとき自動的にステレオになります。

周波数ステップを変える



この操作を行うと、ラジオがよく聞こえなくなる場合があります (普通はステップを変える必要はありません)。

選局ボタンを押したとき、周波数は連続して変わるのではなく、AM では 9kHz、FM では 50kHz づつ変わっていきます。この変わる単位 (周波数ステップ) を変える操作です。右記の手順を行う度に AM9kHz (FM50kHz) と AM10kHz (FM100kHz) が交互に変わります。



電源を切った状態 (スタンバイ状態) で FREQ/STATION ボタンを 3 秒以上押し続けると AM 放送の周波数ステップが表示されます。



放送局を記憶して簡単に選ぶ

ききたい放送局をあらかじめ記憶させておくことにより簡単な操作でききたい放送局をきくことができます。

放送局を記憶する

1つの放送局を記憶させるための基本操作は次の通りです。

1. ききたいバンド(AMまたはFM)を選ぶ。
2. ききたい放送局にあわせる。
ステーション メモリー
3. STATION MEMORY ボタンを押す。
4. ◀◀または▶▶ボタンで記憶させておくステーション番号(ST-1 ~ ST-24)を選ぶ。
ステーション メモリー
5. STATION MEMORY ボタンを押す。

手順1～5を繰り返すことにより、24局まで記憶できます。

例) AM 954 kHz をステーション 3 に記憶させる。

1 チューナー
TUNER ボタンを押して AM を選ぶ。

2 選局ボタン(◀◀または▶▶)を押して周波数を合わせる。

AM 954
例の場合は、954kHzを選ぶ。



記憶する操作手順の途中で、停止ボタン(■)を押すと動作を中止し、もとの状態に戻ります。

3 ステーション メモリー
STATION MEMORY ボタンを押す。

ST- 1

4 ステーション番号(1)が点滅中に◀◀または▶▶ボタンを押して記憶する番号を選ぶ。

ST- 3

例の場合は、3を選ぶ。

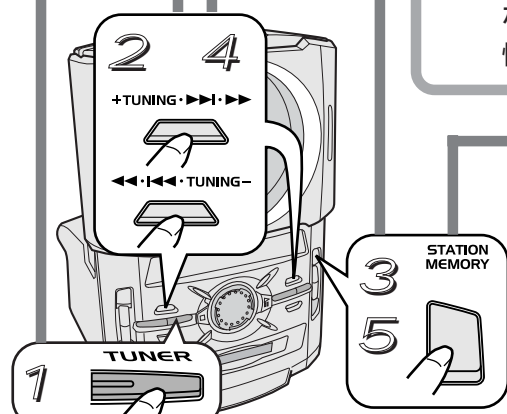
5 ステーション メモリー
STATION MEMORY ボタンを押す。

ST- 3

表示が点滅して、記憶されたことを示します。



すでに記憶してあるステーション番号に新しく記憶させると、以前の記憶は消えてしまいます。



STATION MEMORY ボタン

TUNER ボタン

記憶した放送局から選んできく

記憶させておいた放送局のステーション番号(ST-1 ~ ST-24)を指定することでラジオをきくことができます。

1 チューナー
TUNER ボタンを押す。

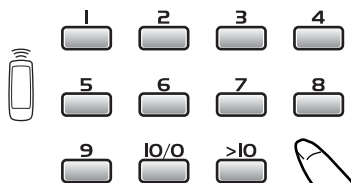


2 フリケンシー ステーション
FREQ/STATION ボタンを押して
ST 表示
にする。



リモコンを使うときは、この手順 2 は行いません。

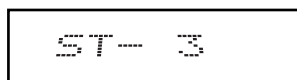
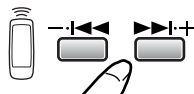
3 ステーション番号の数字ボタン
(リモコン)を押す。



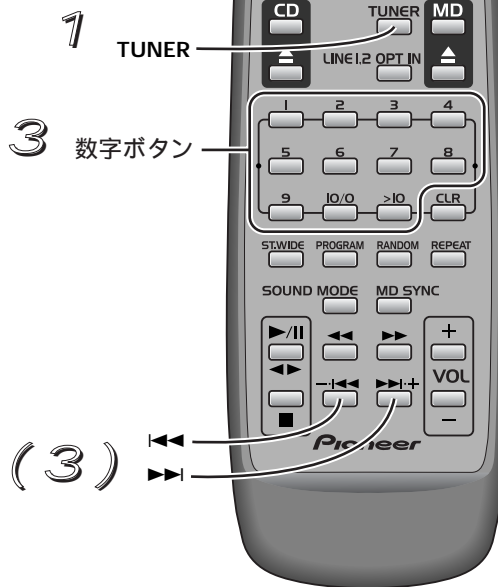
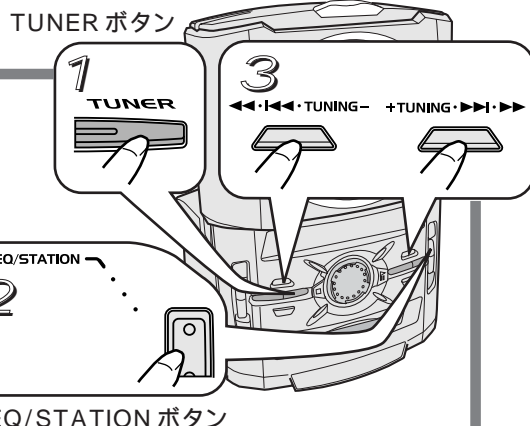
- ST-1 ~ ST-10 は 1 ~ 10 の数字ボタンをそのまま押してください。
- ST-11 ~ ST-24 は、まず >10 ボタンを押してから、10 の位の数字と 1 の位の数字を順番に押してください。

または

◀◀または▶▶ボタンを押して、ステーション番号を選ぶ。



ステーション3を選んだ場合。



記憶した放送局に名前をつけて表示する

記憶した放送局をステーション番号で表示する代わりに12文字までの好きな名前をつけて表示することができます。
使える文字の種類は、アルファベット、数字・記号、カタカナです。

名前の入力のかた

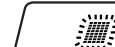
例) ステーション番号24に記憶した放送局を「NHK」と表示する。

1 **FREQ/STATION** ボタンを押して
ST表示にする。

2 **◀◀**または**▶▶**ボタンを押して
放送局(ST-24)を選ぶ。

ST-24

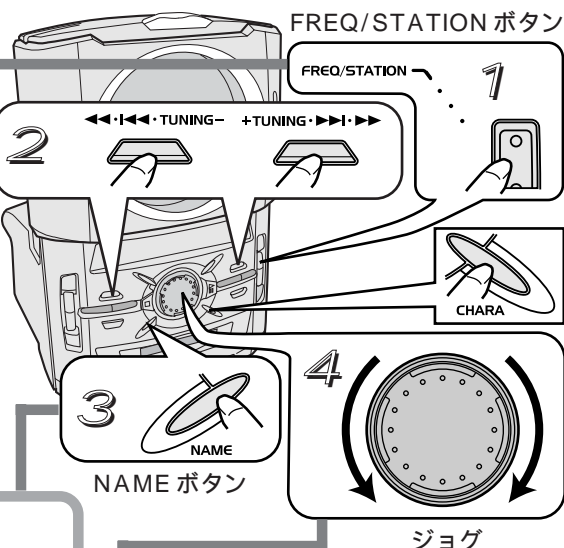
3 **NAME** ボタンを押す。
文字を入れる位置が点滅表示されます。



4 **ジョグ**を回して文字(N)選ぶ。



[次ページにつづく]



◀◀ ボタンと ▶▶ ボタンでカーソル(文字を入れる位置を示すマーク)を左右に移動できます。

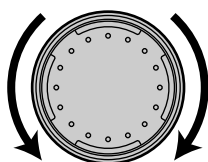
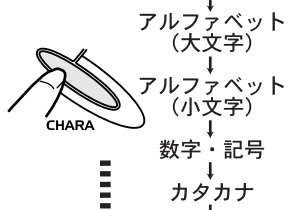
(◀◀ ボタン) (▶▶ ボタン)



手順4、6、8で文字を選ばずに次の手順(▶▶)を押すに進むと、そこはスペース(空白)になります。



CHARA ボタンを押すと文字の種類を選べます。
手順4、6、8で**CHARA**ボタンで文字の種類を選んでから、**ジョグ**をまわして文字を選びます。



アルファベット
(大文字)

A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z

アルファベット
(小文字)

a b c d e f g h i j k l m
n o p q r s t u v w x y z

数字・記号

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! " #
\$ % & ' () * + , - . / :

カタカナ

ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス
セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ネ ノ ハ
ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ ヤ ユ ヨ ラ
リ ル レ ロ ワ ヲ ソ ア イ ウ エ オ ヤ
ユ ヨ ツ (濁点) (半濁点) (長音)
(空白スペース)

記憶した放送局に名前をつけて表示する

5 ▶▶I ボタンを押す。
2 番目の文字の入力待ちになります。

6 ジョグを回して文字(H)を選ぶ。

7 ▶▶I ボタンを押す。
3 番目の文字の入力待ちになります。

8 ジョグを回して文字(K)を選ぶ。

9 ^{ネーム} NAME ボタンを押す。
最後の文字を選んだ後で押してください。

5 7

6 8

ジョグ

9

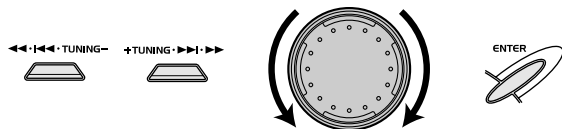
NAME ボタン

名前を変えるとき

変えたい名前を表示させ、^{ネーム} NAME ボタンを押して以下の操作で変更してから、^{ネーム} NAME ボタンを押して終わります。

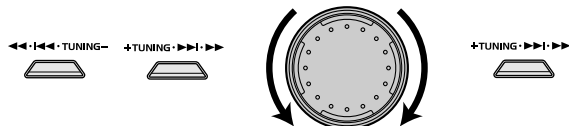
文字を挿入するには

◀◀I または ▶▶I ボタンで挿入する位置を決め、ジョグで文字を選び、^{エンター} ENTER ボタンを押します。



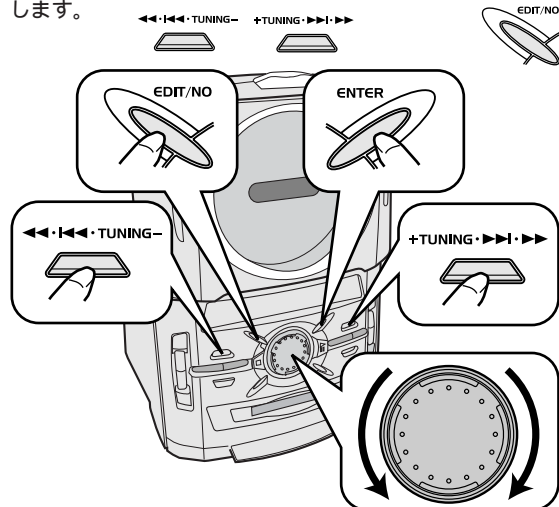
文字を入れ替えるには

◀◀I または ▶▶I ボタンで入れ替える文字の場所を選び、ジョグで文字を選び、▶▶I ボタンを押します。



文字削除するには

◀◀I または ▶▶I ボタンで文字を選び、^{エディット、ノー} EDIT/NO ボタンを押します。



CD をきく前に

CD の扱いかた

右記マークの付いたコンパクトディスクをお使いください。



ご注意



レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しのないことを確認してから、ご使用ください。

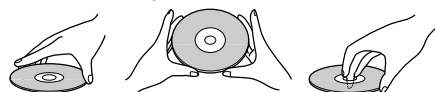
損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。

CD の持ちかた

信号面にふれないようにしてください。（タイトル等の印刷のない面が信号面です。）



保管

必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

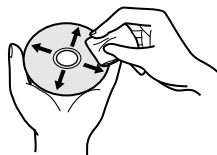
ディスクのお手入れ

ディスクに指紋やホコリが付いた場合、汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。

ディスクの清掃には別売のディスククリーニングセット（JVD11）の使用をおすすめします。

汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

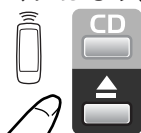
柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く



CD の入れかた

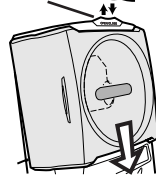
1

上側の CD カバーセンサー（オープン OPEN/クローズ CLOSE）に手をふれ、すぐにはなす。リモコンでは CD ▲ ボタンを押す。
CD カバーが下がります。

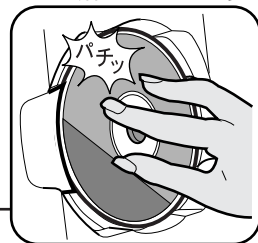


OPEN/CLOSE

1



CD を落とさないように

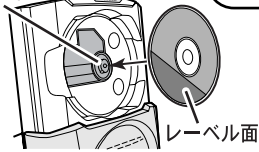


2

CD をレーベル面を手前にして CD 回転台にはめ込みます。「パチッ」と確実に固定してください。

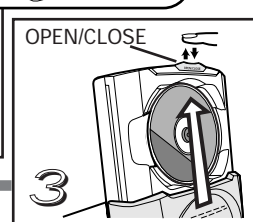
CD 回転台

2



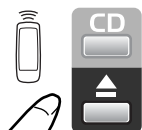
OPEN/CLOSE

3



3

上側の CD カバーセンサー（オープン OPEN/クローズ CLOSE）に手をふれ、すぐにはなす。リモコンでは CD ▲ ボタンを押す。
CD カバーが上がります。



ご注意

CD カバーの動きを妨げないでください。故障の原因になります。



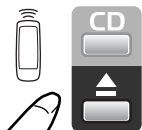
おや？

MD 挿入口から MD が突き出しているときは、オープン OPEN/クローズ CLOSE ボタンを押しても CD カバーは動きません。

CD をきく

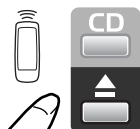
1 曲目からきく

1 上側の CD カバーセンサー(OPEN/
クローズ)に手をふれ、すぐにはなす。
リモコンでは CD ▲
ボタンを押す。
CD カバーが下がります。

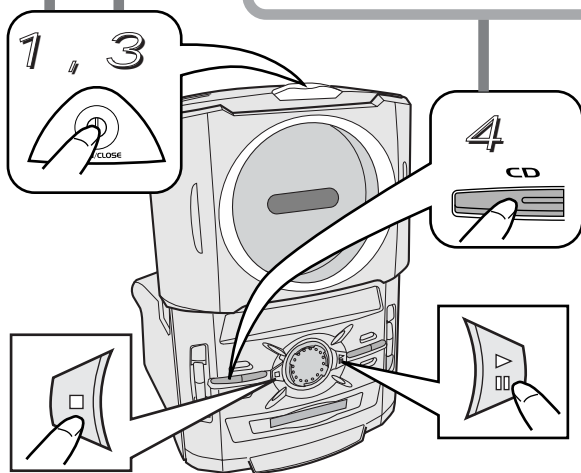


2 CD をレーベル面を手前にして
CD 回転台にはめ込みます。
「パチッ」と確実に固定してください。

3 上側の CD カバーセンサー(OPEN/
クローズ)に手をふれ、すぐにはなす。
リモコンでは CD ▲
ボタンを押す。
CD カバーが上がります。



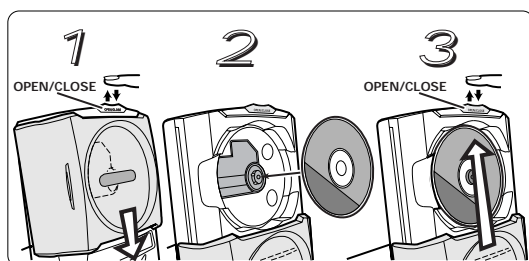
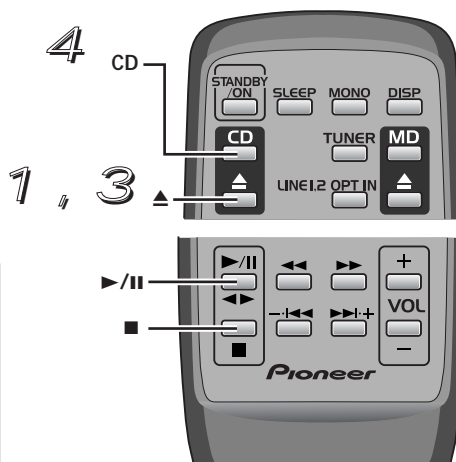
4 CD ボタンを押す。
● 1 曲目から演奏をはじめます。
● 最後の曲が終わると、自動的に止まります。



停止ボタン

演奏を止める

停止ボタン(■)を押す。



ご注意

CD カバーの動きを妨げないでください。故障の原因になります。

準備

基本操作

ラジオをきく

CD をきく

MD をきく

MD に録音する

MD を編集する

タイマー動作

故障?

その他

CD をきく

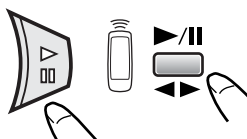


一時停止する

ポーズ機能

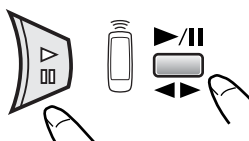
演奏を一時的に止める

再生 / 一時停止ボタン
(▶/||)を押す。



一時的に止めた演奏を再開する

再生 / 一時停止ボタン
(▶/||)を押す。

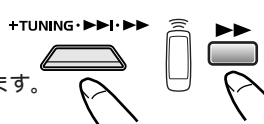


早送り・早戻しする

マニュアルサーチ

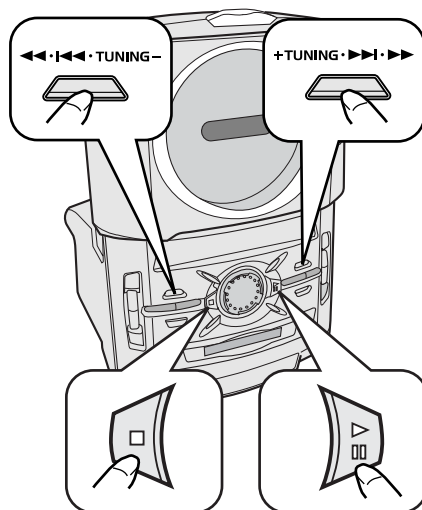
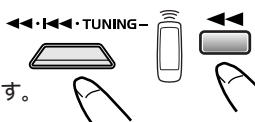
曲を早送りする

演奏中に ►► ボタン
を押す。
押している間、早送りします。
音が小さく聞こえます。



曲を早戻しする

演奏中に ◀◀ ボタン
を押す。
押している間、早戻しします。
音が小さく聞こえます。



停止ボタン

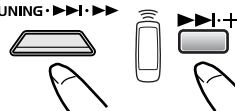
再生 / 一時停止ボタン

曲をスキップする

トラックサーチ

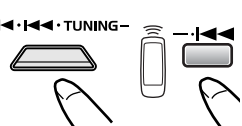
先に進む

►► ボタンを短く押す。+TUNING・►► ボタン
次の曲に進みます。

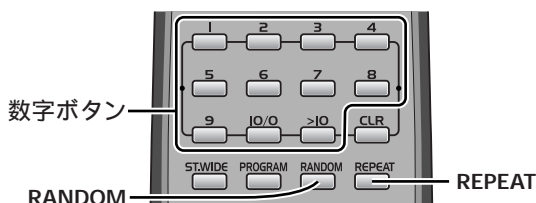


前に戻る

◀◀ ボタンを短く押す。◀◀・◀◀・TUNING-
曲の始めに戻ります。
くり返し押すと前の曲の
始めに戻ります。



- 一時停止中に頭出し (トラックサーチ) ボタンを押すと、選んだ曲の頭で一時停止します。演奏をはじめるには再生 / 一時停止ボタン (▶/||) を押してください。

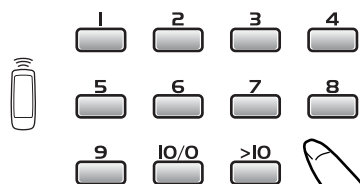


ききたい曲から演奏する

ダイレクトサーチ

曲番号(トラックナンバー)を指定すると、その曲から演奏を始めます。

曲番号(トラックナンバー)をリモコンの数字ボタンで選ぶ。



- 1 番から 10 番までは、その数字のボタンをそのまま押します。
- 11 番以上は、「>10」ボタンを使います。
 - ① まず「>10」ボタンを押す。
 - ② つぎに番号の十の位の数字ボタンを押す。
 - ③ つづいて番号の一の位の数字ボタンを押す。

[例 1] 16 番を選ぶとき

「>10」, 「1」, 「6」の順に続けて押します。



[例 2] 30 番を選ぶとき

「>10」, 「3」, 「10/0」の順に続けて押します。



11 番以上を選ぶときは、「10/0」ボタンは「0」ボタンとして使います。

おや?



11 番以上を選ぶときは、「>10」ボタンを押してから 5 秒以内に数字ボタンを押してください。

ひと言



ランダムに演奏する

ランダムプレイ

プレーヤーが曲順を適当に変え、CD 中のすべての曲を 1 回づつ演奏すると止まります。

リモコンの ^{ランダム} RANDOM ボタンを押します。



- 表示パネルに「^{ランダム} RDM」が点灯して演奏をはじめます。
- 停止ボタン(■)を押すとランダム演奏を中止します。



予約された曲をランダム演奏できません。

ひと言

演奏をくり返す

リピートプレイ

1 曲または CD の全曲をくり返して演奏します。

リモコンの ^{リピート} REPEAT ボタンを押すと、1 曲リピート、全曲リピート、リピートオフの順に切り換わる。

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| [1 曲リピート] | 表示パネルの「RPT-ONE」が点灯し、演奏中の曲をくり返します。 |
| [全曲リピート] | 表示パネルの「RPT-ALL」が点灯し、CD の全曲をくり返します。 |
| [リピートオフ] | 表示パネルの「RPT-ALL」が消灯し、演奏のくり返しはしません。 |



表示パネルの大きな表示は ^{リピート} REPEAT ボタンを押したときに一時的に出るものです。

おや?



- ランダム演奏中に ^{リピート} REPEAT ボタンを押すと、ランダム演奏をくり返します。
- プログラム演奏中に、^{リピート} REPEAT ボタンを押すと、プログラム演奏をくり返します。プログラム演奏については 26 ページをごらんください。

ひと言

CD を予約演奏する

ききたい曲を予約する


プログラム演奏

ききたい曲を予約して、ききたい順番に 24 曲まで演奏できます。

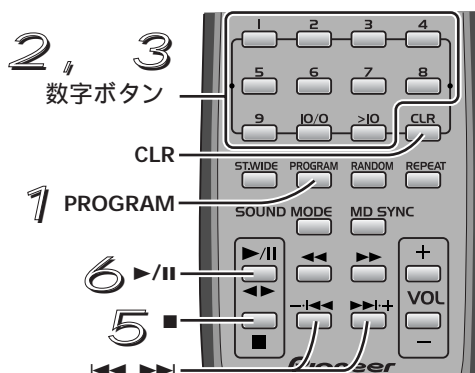
例) CD の曲番号 (トラックナンバー) 7 と 12 を予約して演奏する場合。

1 停止中にリモコンの PROGRAM ボタンを押す。

プログラム "PGM" インジケーターが点灯し、1 ステップ目の入力待ちになります。

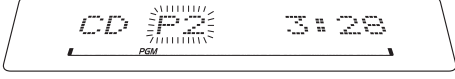
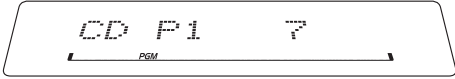


* P1 はステップ番号 1、0:00 は合計時間です。



2 最初に演奏する曲番号の数字ボタンを押す (例では 7)。1 秒待つ。

選んだ曲番号を表示し、1 秒後に 2 ステップ目の入力待ちになります。



* P2 はステップ番号 2、3:28 は合計時間です。



便利

もし曲番号をまちがえたら CLR ボタンを押してください。押す度に後ろのプログラムステップから順番に消していきいます。消した後、曲番号を入れ直してください。

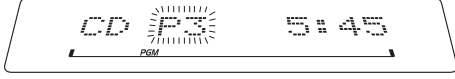
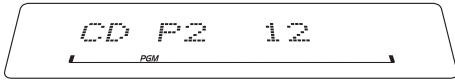


ひと言

- 曲番号が 1 番から 10 番までは、その数字のボタンをそのまま押します。
- 11 番以上は、「>10」ボタンを使います。
 - まず「>10」ボタンを押す。
 - つぎに番号の十の位の数字ボタンを押す。
 - つづいて番号の一の位の数字ボタンを押す。「ききたい曲から演奏する」(25 ページ)をごらんください。

3 次に演奏する曲番号の数字ボタンを押す (例では >10、1、2)。1 秒待つ。

選んだ曲番号を表示し、1 秒後に 3 ステップ目の入力待ちになります。



* P3 はステップ番号 3、5:45 は合計時間です。

[次ページへつづく]



ひと言

予約曲を選ぶのに ◀◀ ボタンと ▶▶ ボタンが使えます
手順 2 と手順 3 で予約する曲を選ぶときに、数字ボタンを使わずに、

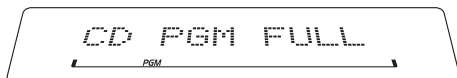
- ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して曲番号を選ぶ。
 - PROGRAM ボタンを押して確定する。
- の様にします。他の手順は変わりません。

4 さらに曲を予約するときは、手順 3 (または手順 2) をくり返す。

- 24 曲 (ステップ番号 24) まで予約できます。



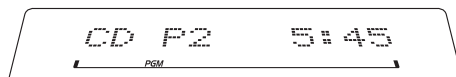
25 曲目を入力しようとすると"**CD PGM FULL**"
を表示し、予約の受付を終わります。



予約内容を確認できます
停止中に (合計曲数と合計演奏時間を表示中に) ◀◀ ボタンや ▶▶ ボタンを押すと、予約内容を順に表示します。予約内容を表示中に停止ボタン (■) を押すと、合計曲数と合計演奏時間の表示に戻ります。

5

24 曲以下で予約を終わるときは、
停止ボタン (■) を押す。
合計曲数と合計演奏時間を表示します。



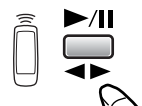
前の曲や次の曲に移れます
演奏中に、◀◀ ボタンや ▶▶ ボタンを押すと、
予約した 1 つ前の曲や予約した 1 つ先の曲に
移ります。

予約内容の演奏をくり返せます
予約曲の演奏中に **REPEAT** ボタンを押すと、
予約した内容をくり返して演奏します。

6

再生 / 一時停止ボタン (▶/||) を押す。

- 予約した曲を、予約した順に演奏し、停止します。
- 途中で止めるときは停止ボタン (■) を押します。



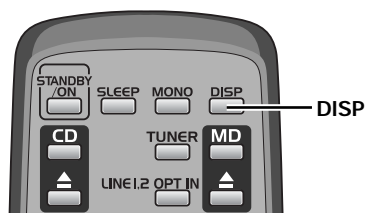
予約を取り消すには

- 停止中に (合計曲数と合計演奏時間を表示に) 停止ボタン (■) を押す。
- CD カバーを開ける。
- 電源を切る。

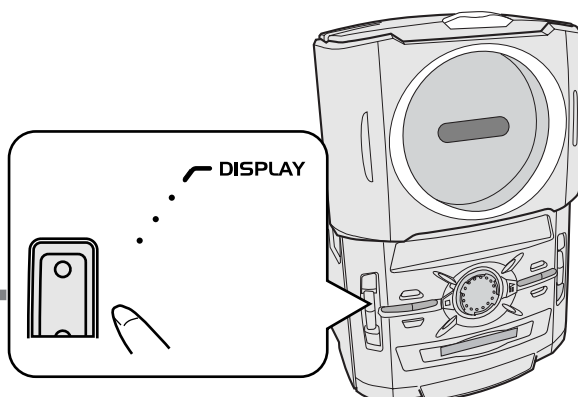


CLR ボタンを押すと、押すたびに後ろの予約ステップから順番に消えていきます。最後のステップが消えると予約演奏も取り消されます。

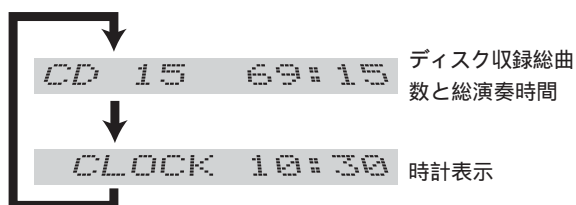
CD の演奏内容を表示する



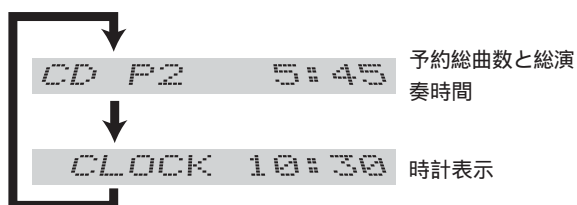
ディスプレイ
CD 演奏のときに DISPLAY (DISP)
ボタンを押すと次のようになります。



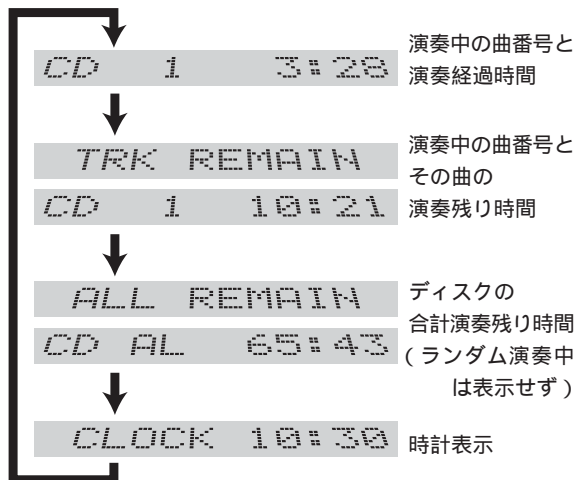
停止しているとき



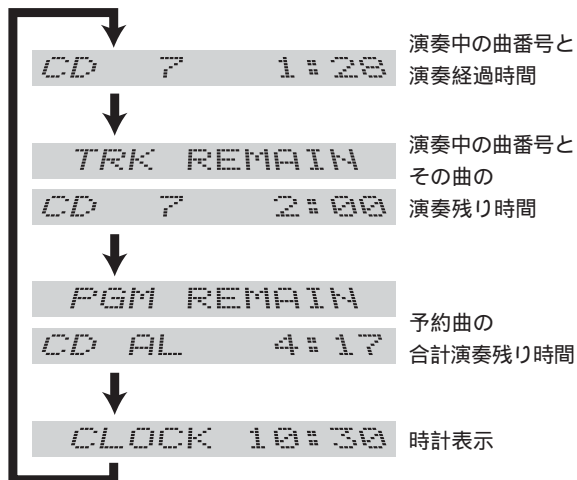
停止しているとき (予約演奏時)



演奏中



演奏中 (予約演奏時)



MD をきく前に

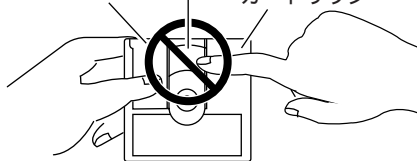
MD の扱いかた

右記マークの付いたディスクをお使いください。



ディスクに直接触れないでください。
シャッターを無理に開けるとこわれます。
分解しないでください。

シャッター ディスク カートリッジ



MD の種類について

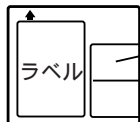
再生専用と録音・再生用があります。

- 再生専用 MD (録音はできません)



シャッターが裏面にあります。

- 録音・再生用 MD



シャッターが両面にあります。

保管

ケースに入れて保管してください。
次のようなところには保管しないでください。

- 高温多湿の場所
- 直射日光が当たる場所
- 砂やホコリの入りやすい場所

カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

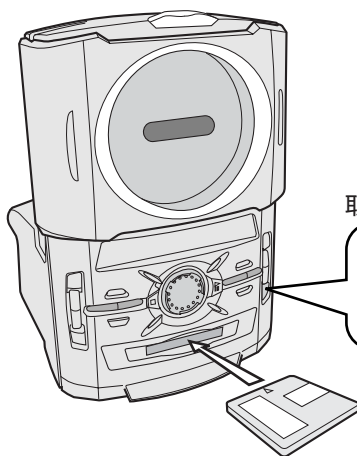
ラベルの貼付けについて

以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MD が取出せなくなることがあります。

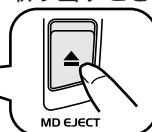
- 指定の場所 (エリア内) に貼ってください。
- 重ねて貼付けしないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。



MD の入れかた



取り出すとき



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。



おや?

「再生専用 MD」、または「録音・再生用 MD」で誤
消去防止状態になっている MD を挿入すると、自動
的に演奏を始めます。



ひと言

裏面を上にして入れようとしても、入らない構造に
なっています。

MD を入れたときの表示

MD TOC READ

MDの目次データ (TOC=Table of Contents=曲番
号、曲名、録音場所など曲を認識するための情報) を
読み取っています。

BLANK DISC

MD に何も記録されていません。

NO NAME

ディスクタイトルが無いときに表示されます。

MD EJECT

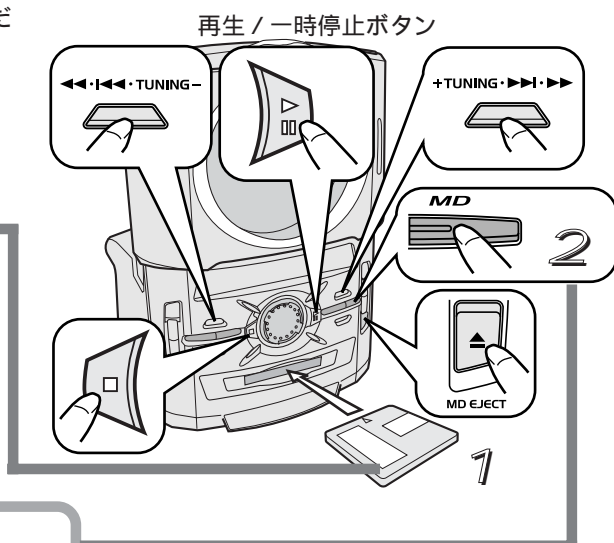
MD EJECT ボタンを押し、MD 取り出し動作中です。

MD をきく

はじめて MD を扱う方は、まず 35 ページをごらんください。MD にはカセットテープと違う機能があります。

1 曲目からきく

- 1 MD を、レーベル面を上にして矢印の方向から MD 挿入口に差し込む。
「再生専用 MD」、または「録音・再生用 MD」で誤消去防止状態になっている MD (35 ページ) を挿入すると、少ししてから (目次データ (TOC=Table of Contents = 曲番号、曲名、録音場所など曲を認識するための情報) を読み取ってから) 自動的に演奏を始めます。



- 2 MD ボタンを押す。
「録音・再生用 MD」で誤消去防止状態になっていない MD (35 ページ) は、自動的に演奏を始めませんので MD ボタンを押して演奏を始めてください。



「再生専用 MD」や名前を記録した MD (52 ページ) では表示パネルに名前を表示します。

ひと言

演奏を止める

停止ボタン (■) を押す。

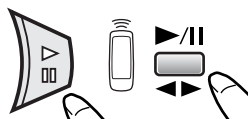


一時停止する

ポーズ機能

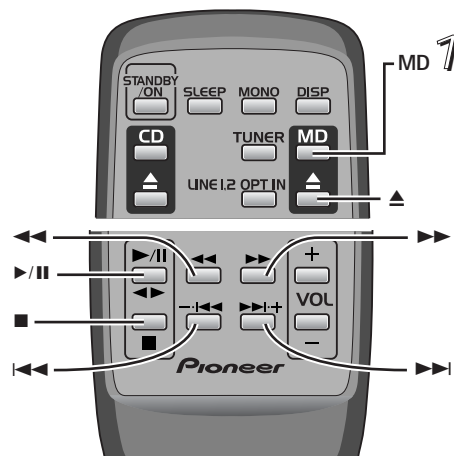
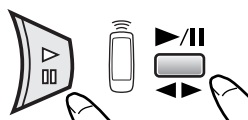
演奏を一時的に止める

再生 / 一時停止ボタン (▶/||) を押す。



一時的に止めた演奏を再開する

再生 / 一時停止ボタン (▶/||) を押す。

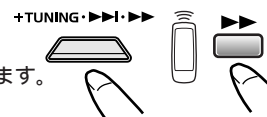


早送り・早戻しする

マニュアルサーチ

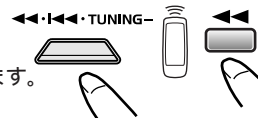
曲を早送りする

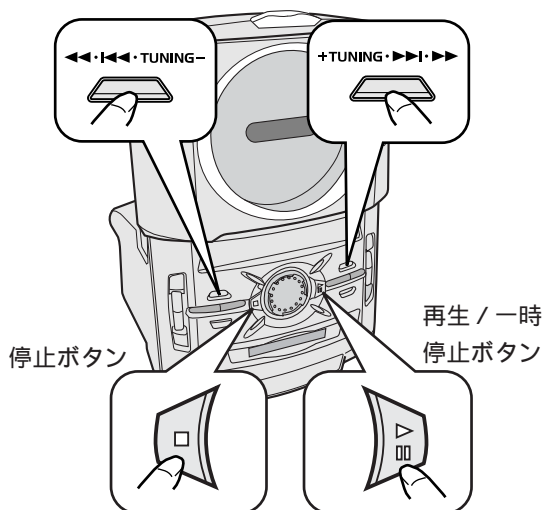
演奏中に ▶▶ ボタンを押す。
押している間、早送りします。
音が小さく聞こえます。



曲を早戻しする

演奏中に ◀◀ ボタンを押す。
押している間、早戻しします。
音が小さく聞こえます。



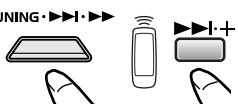


曲をスキップする

トラックサーチ

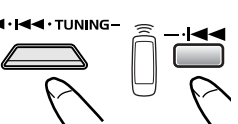
先に進む

▶▶ ボタンを短く押す。+TUNING ▶▶ ボタンを押すと、次の曲に進みます。



前に戻る

◀◀ ボタンを短く押す。◀◀ TUNING- ボタンを押すと、前の曲の始めに戻ります。くり返し押すと前の曲の始めに戻ります。



ひと言

- 一時停止中に頭出し(トラックサーチ)ボタンを押すと、選んだ曲の頭で一時停止します。演奏をはじめるには再生/一時停止ボタン(▶/||)を押してください。

ランダムに演奏する

ランダムプレイ

プレーヤーが曲順を適当に変え、MDの中のすべての曲を1回づつ演奏すると止まります(ランダムプレイ)。

リモコンのRANDOM ボタンを押します。



- 表示パネルに「RDM」が点灯して演奏をはじめます。
- 停止ボタン(■)を押すとランダム演奏を中止します。



ひと言

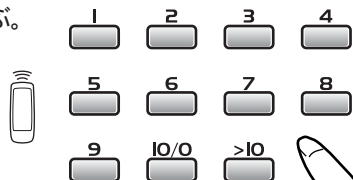
- 予約された曲をランダム演奏できません。

ききたい曲から演奏する

ダイレクトサーチ

曲番号(トラックナンバー)を指定すると、その曲から演奏を始めます(ダイレクトサーチ)。

曲番号(トラックナンバー)をリモコンの数字ボタンで選ぶ。



- 1 番から 10 番までは、その数字のボタンをそのまま押します。
- 11 番以上は、「>10」ボタンを使います。
 - まず「>10」ボタンを押す。
 - つぎに番号の十の位の数字ボタンを押す。
 - つづいて番号の一の位の数字ボタンを押す。
- 100 番以上は、「>10」ボタンを 2 回押します。

[例 1] 16 番を選ぶとき

「>10」「1」「6」の順に続けて押します。



[例 2] 30 番を選ぶとき

「>10」「3」「10/0」の順に続けて押します。



[例 3] 126 番を選ぶとき

「>10」「>10」「1」「2」「6」の順に続けて押します。



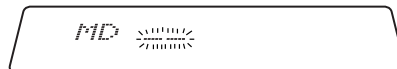
おや?



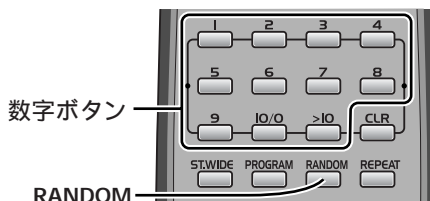
ひと言

- 11 番以上を選ぶときは、「10/0」ボタンは「0」ボタンとして使います。

- 11 番以上を選ぶときは、「>10」ボタンを押してから 5 秒以内に数字ボタンを押してください。



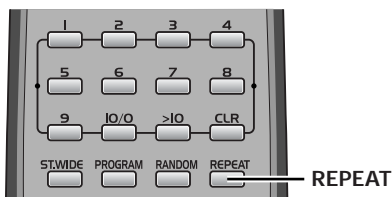
- 100 番以上を選ぶときは「>10」ボタンを 2 回押してください。



演奏をくり返す

リピートプレイ

1 曲または MD の全曲をくり返して演奏します。



リモコンのリピート
ボタンを押すと、
1 曲リピート、全曲リピート、リピートオフの
順に切り換わる。

- [1 曲リピート] 表示パネルの "RPT- ONE" が点灯し、演奏中の曲をくり返します。
- [全曲リピート] 表示パネルの "RPT- ALL" が点灯し、MD の全曲をくり返します。
- [リピートオフ] 表示パネルの "RPT- ALL" が消灯し、演奏のくり返しはしません。



表示パネルの大きな表示はREPEATボタンを押したときに一時的に出るものです。



- ランダム演奏中に (31 ページ) REPEAT ボタンを押すと、ランダム演奏をくり返します。
- プログラム演奏中にREPEATボタンを押すと、プログラム演奏をくり返します。

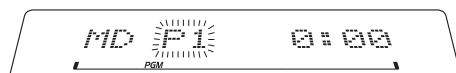
ききたい曲を予約する

プログラム演奏

ききたい曲を予約して、ききたい順番に24曲まで演奏できます。

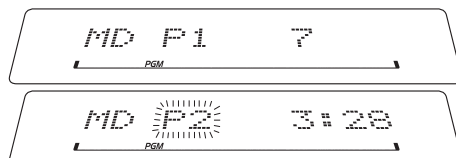
例) MD の曲番号 (トラックナンバー) 7 と 12 を
予約して演奏する場合。

- 1 停止中にリモコンのPROGRAM ボタンを押す。
"PGM" インジケーターが点灯し、1 ステップ目の
の入力待ちになります。



* P1 はステップ番号 1、0:00 は合計時間です。

- 2 最初に演奏する曲番号の
数字ボタンを押し (例で
は 7) 1 秒待つ。
選んだ曲番号を表示し、1 秒後に 2 ステップ目
の入力待ちになります。

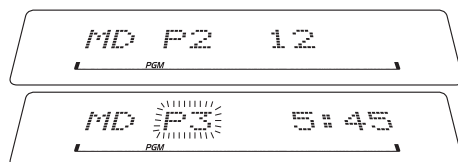


* P2 はステップ番号 2、3:28 は合計時間です。



もし曲番号をまちがえたらCLRボタンを
押してください。押す度に後ろのプログ
ラムステップから順番に消していきます。
消した後、曲番号を入れ直してください。

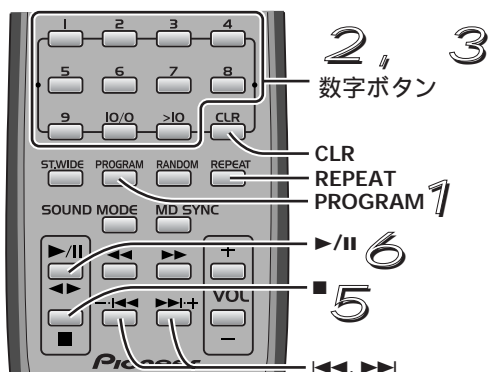
- 3 次に演奏する曲番号の数字
ボタンを押し (例では >10、
1、2) 1 秒待つ。
選んだ曲番号を表示し、1 秒後に 3 ス
テップ目の入力待ちになります。



* P3 はステップ番号 3、5:45 は合計時間です。



曲番号が 11 以上のときは、まず、>10 を押して
から、十の位の数字、一の位の数字を順番に押しま
す (31 ページ「ききたい曲から演奏する」をござ
んください)。



予約曲を選ぶのに◀◀ボタンと▶▶ボタンが使えます

手順2と手順3で予約する曲を選ぶときに、数字ボタンを使わずに、

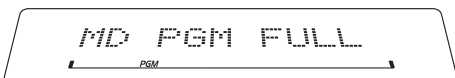
① ◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押して曲番号を選ぶ。

② PROGRAM ボタンを押して確定する。の様にします。他の手順は変わりません。

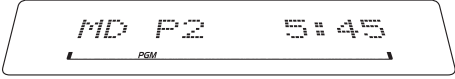
- 4 さらに曲を予約するときは、手順3 (または手順2) をくり返す。
- ポーズ (一時停止) は予約できません。
 - 24 曲 (ステップ番号 24) まで予約できます。



25 曲目を入力しようすると"MD PGM FULL"を表示し、予約の受付を終わります。



- 5 24 曲以下で予約が終わるときは、停止ボタン (■) を押す。合計曲数と合計演奏時間を表示します。



予約内容を確認できます
停止中に (合計曲数と合計演奏時間を表示中に) ◀◀ボタンや▶▶ボタンを押すと、予約内容を順に表示します。予約内容を表示中に停止ボタン (■) を押すと、合計曲数と合計演奏時間の表示に戻ります。

- 6 再生 / 一時停止ボタン (▶/||) を押す。
- 予約した曲を、予約した順に演奏し、停止します。
 - 途中で止めるときは停止ボタン (■) を押します。



前の曲や次の曲に移れます
演奏中に、◀◀ボタンや▶▶ボタンを押すと、予約した1つ前の曲や予約した1つ先の曲に移ります。

予約内容の演奏をくり返せます
予約曲の演奏中に REPEAT ボタンを押すと、予約した内容をくり返して演奏します。

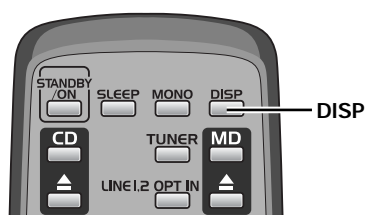
予約を取り消すには

- 停止中に (合計曲数と合計演奏時間を表示に) 停止ボタン (■) を押す。
- MD EJECT ボタン (▲) を押す (MD が排出されます)。
- 電源を切る。

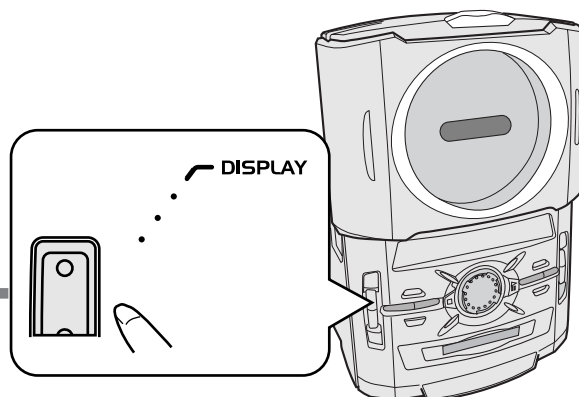


CLR ボタンを押すと、押すたびに後ろの予約ステップから順番に消えていきます。最後のステップが消えると予約演奏も取り消されます。

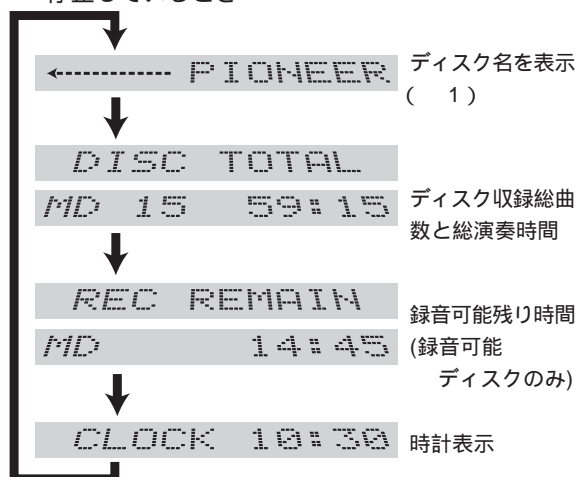
MD の演奏内容を表示する



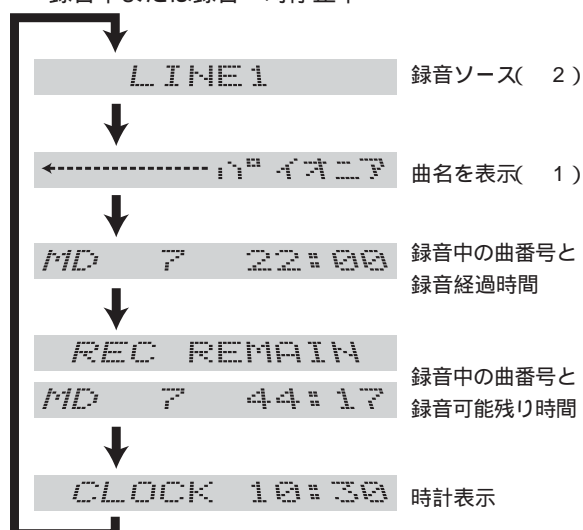
ディスプレイ
MD 演奏のときに DISPLAY(DISP) ボタンを押すと次のようになります。



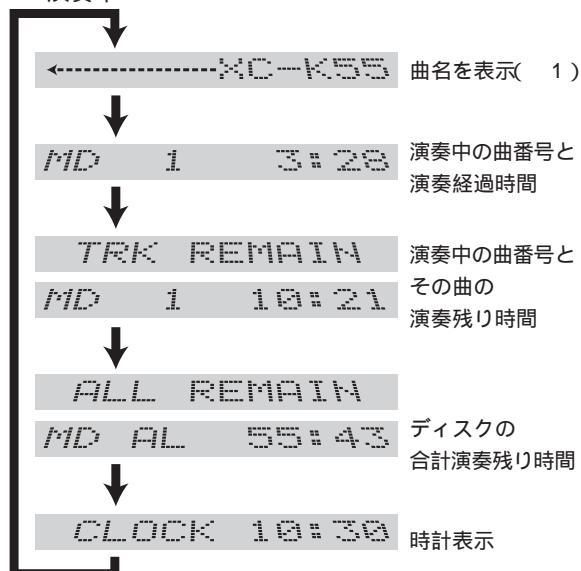
停止しているとき



録音中または録音一時停止中



演奏中



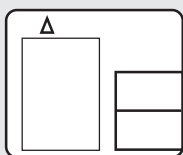
(1)
名前が無いときは "NO NAME" と表示され、次に移ります。

(2)
ラジオ(TUNER)のときは受信周波数またはステーションナンバーまたは名前(ステーションに名前を付けた場合)を表示します。

ディスプレイ
CD のときは、DISPLAY(DISP) ボタンを押す度に、演奏中の曲番号と演奏経過時間 → 演奏中の曲番号とその曲の演奏残り時間 → ディスクの合計演奏残り時間(予約演奏時は予約曲の合計演奏残り時間)を表示します。

MD 録音の予備知識

テープ録音との違い



TOC (トック) が記録されています

曲や音声と共に、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として (TOC: Table of Contents) が記録されています。

裏面には録音できません

裏に入れようとしても、入らない構造になっています。

録音開始場所を探す必要はありません

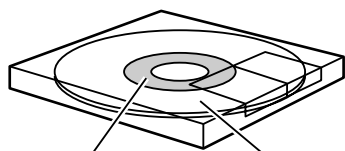
録音できる場所を自動的に探して、そこから録音を始めます。

録音前に録音できる時間を確認できます

MD に記録される情報 (TOC)

演奏や編集をするときには、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として TOC を手がかりに動作しています。したがって MD で曲の録音をしたり編集作業をした場合は、TOC 情報もディスクに記録しますし、TOC 情報を書き換えたりもしています。

ですから正しく曲の録音作業を行っても TOC 情報が正しくディスクに書かれない場合は、正しい演奏ができません。



TOC を記憶

曲や音を録音

TOC はいつ MD に記録される？

- MD を取り出すとき
- 電源を切るとき

TOC を記録するときの注意

TOC の記録中に (MD TOC WRITE が点滅中に) 電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOC が正しく記録されず、正しく再生できない場合があります。

録音中に停電すると？

MD への録音中にコンセントが抜けたり停電すると、そのときの録音内容はすべて消えてしまいます。すでに録音してある MD に録音していた場合は、追加していた部分が消えます。これは、TOC が記録できないためです。

なぜ MD は録音開始前に録音場所を探す必要がないのか？

録音した曲の曲名や曲順、録音場所といった情報を TOC で管理しているからです。ですから TOC 情報を見れば、録音を開始する前に、録音できるディスクの残り時間を知ることができるのです。

次のようなときは録音できません。

再生専用 MD (市販の音楽ソフト) に録音しようとしたとき

MD が誤消去防止状態になっているとき

MD の録音可能時間が残っていないとき

"TOC FULL" が表示されたとき

TOC が異常の時

録音した MD を誤って消去しないために

側面にある誤消去防止

つまみを開けると録音

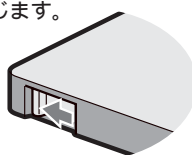
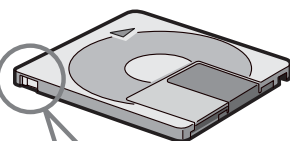
できなくなります (誤

消去防止状態)。

再び録音や編集をした

いときは、つまみを閉

じます。



ひと言

「再生専用 MD」には誤消去防止つまみが無く、つまみを開けた状態に固定されています。

また、つまみを開けた状態の MD を入れると自動的に演奏を始めます。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問合わせ先：社団法人 私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号

東京オペラシティタワー 11F

電話 (03) 5353 - 0336

FAX (03) 5353 - 0337

MD 録音の予備知識

TOC 情報で録音できる時間を確かめる

MD を挿入すると、TOC 情報から録音可能な時間を知ることができます。

TOC データがない MD

未使用の録音再生用 MD のことで、BLANK (ブランク) と表示されるので、ブランク・ディスクともいいます。したがって、使用する MD の種類によって決まる記録可能時間のすべてを録音することができます。

BLANK DISC

TOC データがある MD

録音済の録音・再生用 MD または再生専用 MD で、ディスクの名前が表示されます。下記は表示例で、最大 100 文字までスクロール (文字が右から左に流れる) 表示できます。

← PIONEER

名前を付けていないディスクでは "NO NAME" と表示されます。

NO NAME

ディスプレイ
DISPLAY (DISP) ボタンを押すと、ディスク収録総曲数と総演奏時間を表示します。

DISC TOTAL

MD 15 59:15

ディスプレイ
録音可能なディスクでは、もう一度 DISPLAY (DISP) ボタンを押すと、録音可能残り時間が表示されます。

REC REMAIN

MD 14:45

TOC データがいっぱいの MD

MD には、最大で 255 曲までの TOC 情報しか録音できません。したがって、このままでは新たに曲を録音することはできませんので、曲を消去 (トラックイレース) するか、全曲消去 (オールイレース) してください (50 ページ参照)。

TOC FULL

曲番号について

MD に曲や音声を録音すると、自動的に曲番号がつけられます。追加録音したときは、順に曲番号が大きくなります。

CD から録音したとき

CD についている曲番号と同じ所に、1 曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし 4 秒以下の曲がある場合などは、CD の曲番号と録音した MD の曲番号が一致しないことがあります。

ラジオ放送から録音したとき

1 回の録音内容を 1 曲として曲番号がつきます。

外部機器から録音したとき

1.5 秒以上の無音部分があると、曲間と判断して曲番号が自動的につきます (オートマーク機能)。

信号に雑音があるときなど、録音する内容によっては、正しい位置に曲番号がつかないこともあります。

オートマーク機能を止めて、ひと続きの曲として記録することもできます。(45 ページ参照)

デジタル録音について

本機のデジタル録音のサンプリング周波数は 44.1 kHz です。他のサンプリング周波数の機器 (BS/CS チューナー、DVD、DAT の一部) でも、32 kHz や 48 kHz でのサンプリング周波数であれば自動的にその周波数に切り換わり、デジタル録音することができます。なお、DVD などではデジタルコピーが禁止されている場合には、サンプリング周波数を変換してもデジタル録音はできません。また本機では、96 kHz のサンプリング周波数は変換できません。このような場合にはアナログ接続で録音してください。

デジタルコピーの制限

デジタル入力で録音したものを、さらに別の MD や DAT などにデジタル録音 (コピー) することはできません。これは、SCMS により定められているためです。

このような場合にはアナログ接続で録音してください。

CAN'T COPY

SCMS とは、シリアルコピーマネージメントシステム (Serial Copy Management System) の略で、デジタル信号による録音を「何世代まで」と規制している方式です。ソースによって異なりますが、オリジナルのソースから少なくとも一世代はデジタル信号で録音できます。

MD のシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。

これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

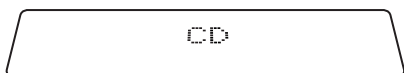
症状	システム上の制約
MDの最大録音時間になっていないのに“ ^{トック} ^{フル} TOC FULL”が表示されることがある。	MDでは、 ^{トック} TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大（255曲）になっていなくても、 ^{トック} TOCの情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。（このようなMDは、全曲イレース機能を行なえば最初から使用できます。）
MDの最大録音時間になっていないのに“ ^{ディスク} ^{フル} DISC FULL”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラスタ（約2秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。（録音中に“ ^{デフェクト} DEFECT”と表示され、MDの曲番が自動的に増えます。）
編集で曲と曲をつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、コンバイン機能（47ページ）を使えないことがあります。
録音された曲を早戻し／早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、早戻し／早送り中に音がとぎれることがあります。

CD を MD に録音する

1 曲目から順番に録音する

1

CD ボタンを押す。



2

上側の CD カバーセンサー (OPEN/
CLOSE) に手をふれ、すぐにはなす。
CD カバーが下がります。

3

CD をレーベル面を手前にして
CD 回転台にはめ込みます。
「パチッ」と確実に固定してください。

4

上側の CD カバーセンサー (OPEN/
CLOSE) に手をふれ、すぐにはなす。
CD カバーが上がります。

5

MD を、レーベル面を上にして、
矢印の方向から MD 挿入口に差し
込む。
途中から自動的に引き込まれます。

6

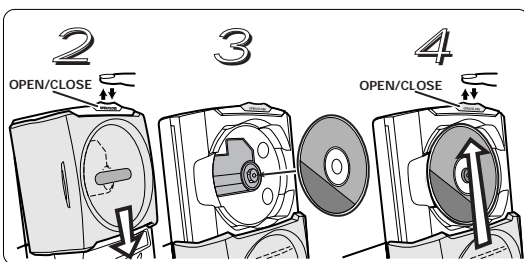
ASES ボタンを押す。

MD が録音を始め、同時に CD が演奏を始め
ます。
CD の演奏が終わると、MD の録音も終わり
ます。
CD の演奏時間が MD 録音可能時間より長い
場合は、MD の録音が止まったときに CD の
演奏も止まります。



ひと言

A,S,E,S, 動作中に CD や MD を取り出すことはで
きません。CD や MD を取り出す場合は停止ボタン
(■) を押して、A,S,E,S, 動作を止めてから取り出
し操作を行ってください。



CD カバーの動きを妨げないでください。故障
の原因になります。



おや?

MD 挿入口から MD が突き出しているときは、
OPEN/CLOSE ボタンを押しても CD カバーは動
きません。

自動的に録音されていない場所(前回録音の続き)か
ら録音を始めます。テープのように頭出しする必要
はありません。

自動編集録音(A.S.E.S.=Auto Synchro Editing
System)を行います。

デジタル信号接続で録音されます。

CD についている曲番号と同じ所に、1 曲ごとの曲番
号が自動的につきます。



おや?

4 秒以下の曲がある場合などは、CD の
曲番号と録音した MD の曲番号が一致
しないことがあります。

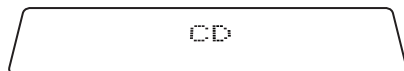


ご注意

誤消去防止状態になっている
MD には録音できません。
(35 ページをごらんください。)

1 曲だけ選んで録音する

1 CD ボタンを押す。

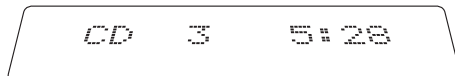


2 上側のCDカバーセンサー(OPEN/クローズ)に手をふれ、すぐにはなす。
CDカバーが下がります。

3 CDをレーベル面を手前にして
CD回転台にはめ込みます。
「パチッ」と確実に固定してください。

4 上側のCDカバーセンサー(OPEN/クローズ)に手をふれ、すぐにはなす。
CDカバーが上がります。

5 ◀◀または▶▶ボタンを押して録音したい
曲を表示部に表示する。(例 3曲目)



6 MDを、レーベル面を上にして、矢印
の方向からMD挿入口に差し込む。
途中から自動的に引き込まれます。

7 アセスASES ボタンを押す。

MDが録音を始め、同時にCDが手順5で選んだ曲の演奏を始めます。
手順5で選んだ曲の演奏が終わると、MDの録音も終わります。

アセス1曲A,S,E,S,動作中にCDやMDを取り出すことはできません。CDやMDを取り出す場合は停止ボタン(■)を押して、1曲A,S,E,S,動作を止めてから取り出し操作を行ってください。

アセスMD挿入口からMDが突き出しているときは、OPEN/クローズボタンを押してもCDカバーは動きません。

自動的に録音されていない場所(前回録音の続き)から録音を始めます。テープのように頭出しする必要はありません。

1曲自動編集録音(1トラック アセスA.S.E.S.=1 トラックtrack
オートシンクロ エディッティングシステム)を行います。

デジタル信号接続で録音されます。

前回録音の曲番号の次の曲番号が自動的につきます。



誤消去防止状態になっている
MDには録音できません。
(35ページをご覧ください。)



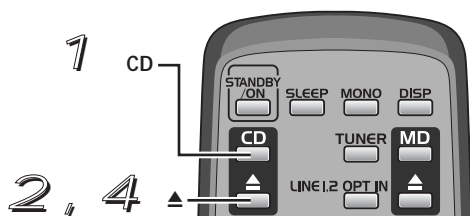
CDカバーの動きを妨げないでください。故障の原因になります。



ご注意

CD を MD に録音する

好きな曲を選んで録音する

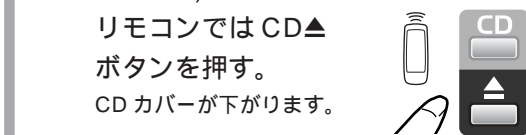


例) CD の曲番号 (トラックナンバー)
7 と 12 を録音する場合。

1 CD ボタンを押す。

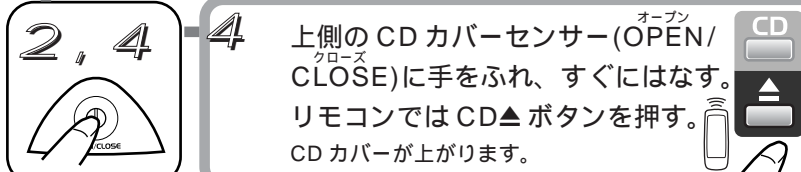


2 上側の CD カバーセンサー (OPEN/
CLOSE) に手をふれ、すぐにはなす。
リモコンでは CD ▲
ボタンを押す。
CD カバーが下がります。



3 CD をレーベル面を手前にして
CD 回転台にはめ込みます。
「パチッ」と確実に固定してください。

4 上側の CD カバーセンサー (OPEN/
CLOSE) に手をふれ、すぐにはなす。
リモコンでは CD ▲ ボタンを押す。
CD カバーが上がります。



5 停止中にリモコンの PROGRAM
ボタンを押す。
"PGM" インジケータが点灯し、
1 ステップ目の入力待ちになります。



* P1 はステップ番号 1、0:00 は合計時間です。

[次ページにつづく]

まず、「CD を予約演奏する」(26 ページ)の方法で
演奏したい曲を演奏したい順番に予約します(24 曲
以内)。予約操作はリモコンで行います。

自動的に録音されていない場所(前回録音の続き)か
ら録音を始めます。テープのように頭出しする必要
はありません。

自動編集録音(A.S.E.S.=Auto Synchro Editing
System)を行います。

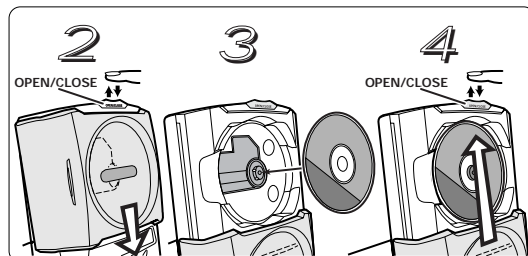
デジタル信号接続で録音されます。

CD についている曲番号と同じ所に、録音した順番
に 1 曲ごとの曲番号が自動的につきます。

4 秒以下の曲がある場合などは、録音した曲に曲番
号付かないことがあります。

誤消去防止状態になっている MD には録音でま
せん。(35 ページをご覧ください。)

CD カバーの動きを妨げないでください。故障
の原因になります。



6, 7
数字ボタン

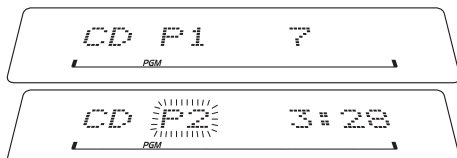


PROGRAM CLR

5

6 最初に演奏する曲番号の数字ボタンを押し(例では7) 1秒待つ。

選んだ曲番号を表示し、1秒後に2ステップ目の入力待ちになります。



* P2はステップ番号2、3:28は合計時間です。



便利

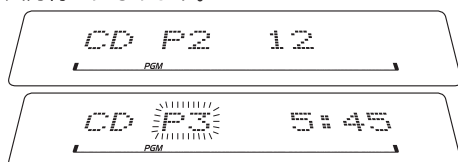
もし曲番号をまちがえたら^{クリアー}CLRボタンを押してください。押す度に後ろのプログラムステップから順番に消していきます。消した後、曲番号を入れ直してください。



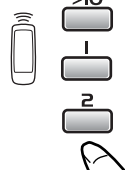
おや?

曲番号が11以上のときは、まず、>10を押してから、十の位の数字、一の位の数字を順番に押します(25ページ「ききたい曲から演奏する」をごらんください)。

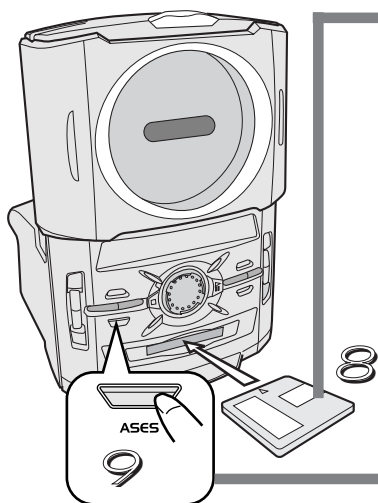
7 次に演奏する曲番号の数字ボタンをし(例では>10、1、2) 1秒待つ。
選んだ曲番号を表示し、1秒後に3ステップ目の入力待ちになります。



* P3はステップ番号3、5:45は合計時間です。



8 MDを、レーベル面を上にして、矢印の方向からMD挿入口に差し込む。
途中から自動的に引き込まれます。



9

^{アセス}ASESボタンを押す。

MDが録音を始め、同時にCDが予約曲の演奏を始めます。
CDの予約曲の演奏が終わると、MDの録音も終わります。
CDの演奏時間がMD録音可能時間より長い場合は、MDの録音が止まったときにCDの演奏も止まります。



ひと言

^{アセス}A, ^{アセス}S, ^{アセス}E, ^{アセス}S, 動作中にCDやMDを取り出すことはできません。CDやMDを取り出す場合は停止ボタン(■)を押して、^{アセス}A, ^{アセス}S, ^{アセス}E, ^{アセス}S, 動作を止めてから取り出し操作を行ってください。

CD を MD に録音する

デジタルコピーできないCDを録音する

録音もとのCDがデジタルコピーしたCD-Rなどの場合、MDに録音しようとしたときに"**CAN'T COPY**"と表示されて録音できないことがあります。

CAN'T COPY

これはSCMS (36 ページ) により、デジタル接続による録音が禁止されていることを示します。アナログ接続にすれば録音できます。

通常、CD から MD に録音するときは、デジタル接続で録音されるように設定されていますが、以下の手順でアナログ接続で録音されるように設定できます。

もとのデジタル接続にもどすには

手順 5 で ^{デジタル}"DIGITAL ?" を選んでください。

DIGITAL ?

手順 6 で ^{エンター}ENTER ボタンを押すと、表示部の ^{デジタル}DIGITAL インジケーターが点灯しデジタル接続にもどります。

MD REC
DIGITAL
ALARM
SCUT
MONO LP
点灯する

1

CD ボタンを押す。

CD

もし、CD が入っていて演奏を始めた場合は、停止ボタン (■) を押して止めてください。



MDは録音が終わってから、それらを編集することができます。アナログ機器から録音したものとCDからデジタル録音したものが混在すると、編集できないことがあります。こんな場合に、CDをあえてアナログ接続して録音するという方法もあります。

2

^{レコ}REC MENU ボタンを押す。

表示部に ^{レコ}"REC MODE" と表示されます。

REC MODE

3

ジョグをまわして ^{インプット セレクター}"INPUT SEL." を表示させる。

INPUT SEL.

4

^{エンター}ENTER ボタンを押す。

5

ジョグをまわして ^{アナログ}"ANALOG ?" を表示させる。

ANALOG ?

6

^{エンター}ENTER ボタンを押す。

表示部の ^{デジタル}"DIGITAL" インジケーターが消灯します。

消える

MD REC
DIGITAL
ALARM
SCUT
MONO LP

MD に録音する

基本録音操作

- 1 MD を、レーベル面を上にして、矢印の方向から MD 挿入口に差し込む。
途中から自動的に引き込まれます。



自動的に録音されていない場所（前回録音の続き）から録音を始めます。テープのように頭出しする必要はありません。



誤消去防止状態になっている MD には録音できません。（35 ページをごらんください。）

- 2 録音するものを選ぶ。

CD を録音するときは CD ボタンを押す
CD が演奏を始めたなら、停止ボタン（■）を押して演奏を一度止めてください。
ラジオを録音するときは TUNER ボタンを押す
TUNER ボタンを押す度に FM / AM が切り換わります。録音したい放送局に合わせてください（17 ページ）。
本機に接続した外部機器を録音するときは LINE 1, 2 OPT IN ボタンを押す
LINE 1, 2 OPT IN ボタンを押す度に、OPT DIGITAL IN（前面パネルの光デジタル入力端子）/ LINE 1（裏面パネルの LINE 1 入力端子）/ LINE 2（前面パネルの LINE 2 入力端子）が選ばれます。



録音中は録音入力を切り換えることはできません。
（入力切り換えボタンが機能しない）

- 3 REC/STOP ボタンを押す。
MD が録音を始めます。

- 4 録音もとの演奏を始める。

録音を止めるときは REC/STOP ボタンを押してください。

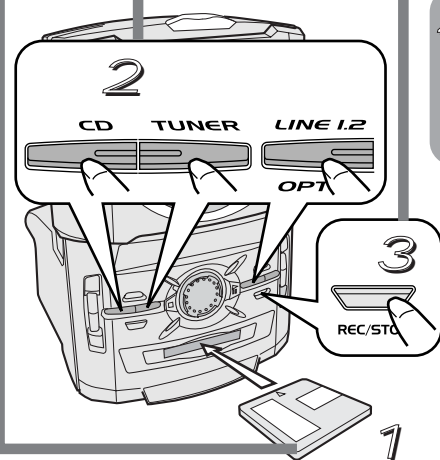
録音モード

通常は「ステレオ標準プレイモード（STEREO SP）」に設定されています。これをモノラルで2倍の時間録音できる「モノラル長時間プレイモード（MONO LP）」にできます。「モノラルで2倍の時間録音する」（44 ページ）をごらんください。

自動的に曲番号をつける（オートマーク機能）
オートマーク（AUTO MARK）とは録音のときに、1.5 秒以上の無音部分を曲と曲の間とみなして、自動的に曲番号をつける機能です。

通常は、CD 以外のデジタル機器をデジタル接続で録音するとき、CD をアナログ接続で録音するとき（「デジタルコピーできない CD を録音する」（42 ページ）ラジオ放送（TUNER）以外のアナログ機器を録音するとき、にオートマーク動作を行います。

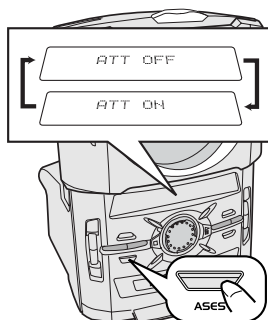
この機能を止めて、録音の途中で曲番号をつけずに、1 回の録音を 1 曲とすることができます。「1 回の録音を 1 曲として録音する」（45 ページ）をごらんください。



ライン 1 入力端子に接続した機器を録音するとき

ライン 1 入力端子に接続した機器から録音したときに、録音したものを再生すると歪みっぽく感じられる場合があります。本機は録音レベルを自動調節しますが、これは入力信号が大きすぎることが考えられ、アッテネーター（減衰器）をオンすると改善されることがあります。

右記の操作を行って "ATT ON" を表示させてください。
アッテネーターをオンした状態で、ライン 1 を選ぶと表示部に "LINE 1 * " を表示します。



電源を切った状態（スタンバイ状態）で ASES ボタンを 3 秒以上押し続けるとアッテネーターがオンし "ATT ON" が表示されます。

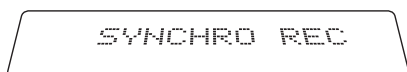
もう一度この操作をするとオフします ("ATT OFF" を表示)。

MD に録音する

演奏すると自動的に録音を始める

この機能（シンクロ録音スタート）は、MDを録音スタンバイ状態にしておいて、録音する信号が入ると自動的に録音を始めます。また、4秒以上音が途切れるとスペースカット機能により曲の終わりと判別し、録音スタンバイ状態にもどります。再び録音する信号が入ると自動的に録音を始めます。「基本録音操作」（43ページ）にしたがってMDを入れ、録音するものを選んでおいてください。

リモコンの"MD SYNC" ボタンを押す。
表示部に"SYNCHRO REC"と表示され、"S. CUT" インジケータが点灯し、録音スタンバイ状態になります。



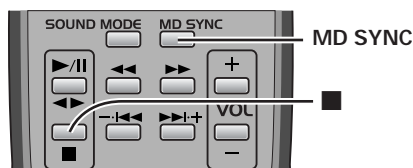
この状態で録音する信号が入ると自動的に録音を始め、4秒以上音が途切れると録音スタンバイ状態にもどります。
録音を終わるときはREC/STOP ボタンを押してください。



ラジオ(TUNER)を録音するときには、この機能は使えません。

この機能を使ったとき、曲と曲の間に雑音があると曲が終わっても録音が止まらないことがあります。

この機能を使ったとき、非常に小さな音が4秒以上続くような曲では、録音が止まってしまうことがあります。

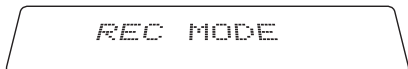


この機能を使うと、曲と曲の間が4秒以上あいているものを4秒に揃えることができます。

モノラルで2倍の時間録音する

通常は「ステレオ標準プレイモード(STEREO SP)」に設定されています。録音を始める前にこの操作をすると、モノラルで2倍の時間録音できる「モノラル長時間プレイモード(MONO LP)」にできます。

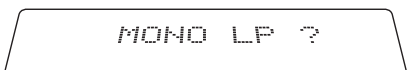
1 停止中にREC MENU ボタンを押す。
表示部に"REC MODE"と表示されます。



もし、"REC MODE"以外の表示のときはジョグをまわして"REC MODE"表示にしてください。

2 ENTER ボタンを押す。

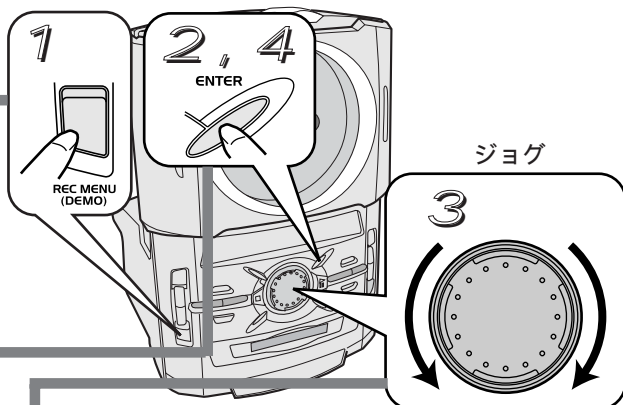
3 ジョグをまわして"MONO LP ?"を表示させる。



4 ENTER ボタンを押す。
表示部の"MONO LP"インジケータが点灯します。

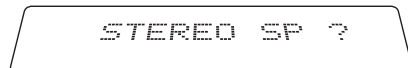


MDは録音が終わってから、それらを編集することができます。ステレオ標準プレイモード(STEREO SP)とモノラル長時間プレイモード(MONO LP)が混在すると、編集できないことがあります。



ステレオ標準プレイモード(STEREO SP)にもどすには

手順3で"STEREO SP ?"を選んでください。



手順4でENTER ボタンを押すと、表示部の"MONO LP"インジケータが消灯しステレオ標準プレイモード(STEREO SP)にもどります。



1 回の録音を 1 曲として録音する

オートマーク機能を止めて、録音の途中で曲番号をつけずに、1 回の録音を 1 曲とすることができます。

オートマーク(AUTO MARK)とは録音のときに、1.5 秒以上の無音部分を曲と曲の間とみなして、自動的に曲番号をつける機能です。

通常は、

- ・ CD 以外のデジタル機器 (DAT や BS など) をデジタル接続で録音するとき、
 - ・ CD をアナログ接続で録音するとき (「デジタルコピーできない CD を録音する」(42 ページ))
 - ・ ラジオ放送(TUNER)以外のアナログ機器を録音するとき、
- にオートマーク動作を行います。

オートマーク機能を働かせるには

手順 4 で "MARK ON ?" を選んでください。

MARK ON ?

手順 5 で ENTER ボタンを押すと、表示部の "A.MARK" インジケーターが点灯し、オートマーク機能が働くようになります。

点灯する
MD REC
DIGITAL
A.MARK
5.CUT
MONO LP

- 1 停止中に REC MENU ボタンを押す。
表示部に "REC MODE" と表示されます。

REC MODE

- 2 ジョグをまわして "AUTO MARK" を表示させる。

AUTO MARK

- 3 ENTER ボタンを押す。

- 4 ジョグをまわして "MARK OFF ?" を表示させる。

MARK OFF ?

- 5 ENTER ボタンを押す。

表示部の "A.MARK" インジケーターが消灯します。

オートマーク機能が停止し、1 回の録音を 1 曲として曲番号が付きます。

消える
MD REC
DIGITAL
A.MARK
5.CUT
MONO LP



ひと言

「モノラルで 2 倍の時間録音する」や「1 回の録音を 1 曲として録音する」は特殊な録音設定にあたります。設定してあることを忘れて録音すると、思わぬ録音ミスをする場合があります。録音が終わったら、設定をもとにもどしておくことをお奨めします。



おや?

ラジオ放送(TUNER)の録音は、ここでの設定に関係なく、1 回の録音を 1 曲として曲番号が付きます。

MD を編集する

MD の編集でできること

曲順を移動させたり、ディスクや曲に名前をつけたり、MDの編集機能を使ってオリジナルのディスクを作ってみましょう。編集機能には次のようなものがあります。

曲を 2 つに分ける (デバインド機能)

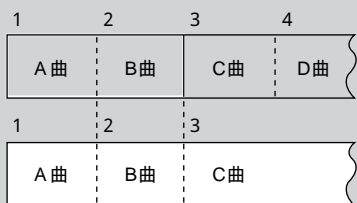
ひとつの曲を希望の位置で 2 つの曲に分けます。



1 枚の MD で最大 255 曲まで曲を分けられます。ただし、255 曲以下でも曲を分けられないことがあります。分けた曲以降の曲番号は大きくなります。

2 つの曲を 1 曲にする (コンバイン機能)

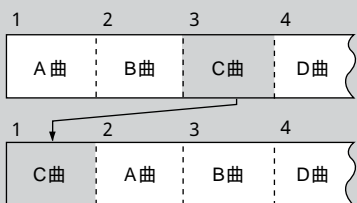
連続した 2 つの曲を、ひとつの曲にまとめます。



まとめた曲以降の曲番号は 1 つ小さくなります。

ひとつの曲を移動する (ムーブ機能)

指定した曲を希望する場所へ移動します。



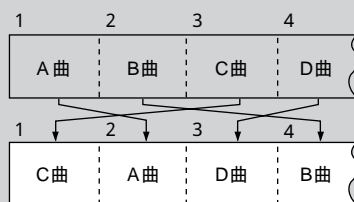
並べ換え後の曲番号は自動的に調整されます。



誤消去防止状態になっている MD は編集できません。(35 ページをごらんください。)

曲を並べかえる (プログラムムーブ機能)

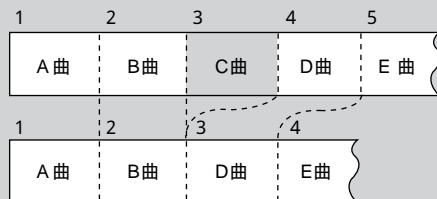
プログラム演奏で指定した曲順に、曲を並べかえます。



並べかえた後の曲番号は自動的に調整されます。プログラムした曲以外の曲番号も自動的に並べかわります。

曲を消す (トラックイレース / オールイレース機能)

指定した 1 曲、またはディスク内のすべての曲を消します。(ディスク名・曲名も消えます。)



消した曲をもとに戻すことはできません。消した曲以降の曲番は小さくなります。

直前の編集を取り消す (アンドゥ機能)

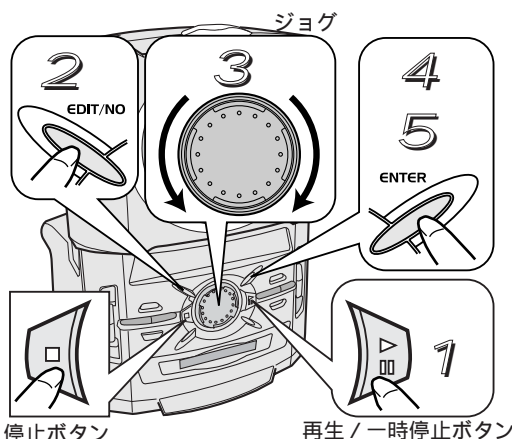
直前に行った編集操作を取り消してもとにもどします。

取り消せない場合もあります。

ディスクや曲に名前をつける (ディスクネーム / トラックネーム機能)

ディスク全体の名前、曲ごとの名前がつけられます。再生中や頭出し時に表示されるため、曲の確認がすばやくできます。

カタカナ、英文字 (大文字 / 小文字)、数字、記号が使用できます。



停止ボタン

再生/一時停止ボタン



ひと言

編集操作を途中で止めたい場合は、^{エディット ノー}EDIT/NO ボタンか、停止ボタン(■)を押してください。

曲を 2 つに分ける

デバイド機能

録音後に 1 つの曲を 2 つに分けます。

- 1 演奏をききながら、曲の分けたい位置で再生/一時停止ボタン(▶/■)を押す。演奏が一時停止状態になります。

- 2 ^{エディット ノー}EDIT/NO ボタンを押す。

- 3 ジョグをまわして ^{デバイド}"DIVIDE" を表示する。

- 4 ^{エンター}ENTER ボタンを押す。確認のメッセージ ^{デバイド}"DIVIDE ?" が表示されます。

- 5 分けるなら、^{エンター}ENTER ボタンを押す。デバイド機能を実行し、^{コンプリート}"COMPLETE" と表示されます。



ひと言

分けられた曲に曲番号が追加され、以降の曲番号が 1 つずつ順送りされます。
分けた曲に名前がついていたときは、分けられた曲にも同じ名前がつきます。

2 つの曲を 1 曲にする

コンバイン機能

隣り合った曲をつないで、1 曲にまとめます。



ご注意

デジタル接続で録音した曲とアナログ接続で録音した曲はつなげません。
ステレオ標準プレイモードで録音した曲とモノラル長時間プレイモード(44 ページ)で録音した曲はつなげません。
15 秒以下の短い曲はうまくつなげないことがあります。

操作例) 4 曲目と 5 曲目をつなぐ場合

- 1 5 曲目をききながら、再生/一時停止ボタン(▶/■)を押す。
演奏が一時停止状態になります。
または、停止状態で◀◀または▶▶ボタンを押して 5 曲目を表示させる。

- 2 ^{エディット ノー}EDIT/NO ボタンを押す。

- 3 ジョグをまわして ^{コンバイン}"COMBINE" を表示する。

COMBINE

- 4 ^{エンター}ENTER ボタンを押す。確認のメッセージ ^{コンバイン}"COMB 4+ 5?" が表示されます。

COMB 4+ 5?

- 5 つなぐなら、^{エンター}ENTER ボタンを押す。4 曲目と 5 曲目がつながれ、^{コンプリート}"COMPLETE" と表示されます。

COMPLETE



ひと言

曲番号は若い方(操作例では 4)になり、以降の曲番号が 1 つずつ順送りされます。
曲に名前がついていたときは、若い方(操作例では曲番号 4)の名前になります。

離れた曲を 1 曲にするには

ムーブ機能(48 ページ)を使って曲を隣に移動してからつないでください。

MD を編集する



誤消去防止状態になっている MD は編集できません。(35 ページをごらんください。)



編集操作を途中で止めたい場合は、^{エディット ノー}EDIT/NO ボタンか、停止ボタン(■)を押してください。

ひと言

1 つの曲を移動する

ムーブ機能

1 つの曲を移動して、曲順を変えることができます。

操作例) 8 曲目を 5 曲目に移動する場合

1

8 曲目をききながら、再生/一時停止ボタン(▶/■)を押す。

演奏が一時停止状態になります。

または、停止状態で◀◀または▶▶ボタンを押して 8 曲目を表示させる。

2

^{エディット ノー}EDIT/NO ボタンを押す。

3

ジョグをまわして"^{ムーブ}MOVE"を表示する。

MOVE

4

^{エンター}ENTER ボタンを押す。

確認のメッセージ"^{ムーブ}MOVE 8 → 1?"が表示されます。

MOVE 8 → 1?

5

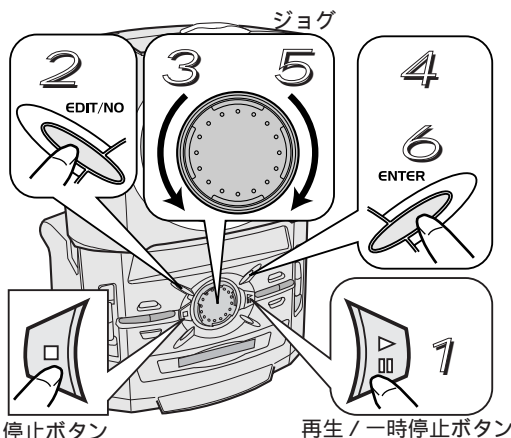
ジョグをまわして移動先"5"を表示する。

MOVE 8 → 5?

6

移動するなら、^{エンター}ENTER ボタンを押す。
8 曲目が 5 曲目に移動し、"^{コンプリート}COMPLETE"と表示されます。

COMPLETE



停止ボタン

再生/一時停止ボタン

曲を並べかえる

プログラムムーブ機能

好みの順番に曲順を変えることができます。

「ききたい曲を予約する」(32 ~ 33 ページ)にしたがって、ききたい順番に予約してからムーブ機能を使います。

予約操作はリモコンで行います。

1

停止中にリモコンの^{プログラム}PROGRAM ボタンを押す。
^{プログラム}"PGM"インジケーターが点灯し、1 ステップ目の入力待ちになります。

MD P1 0:00

* P1 はステップ番号 1、0:00 は合計時間です。

2

最初に演奏する曲番号の数字ボタンを押す(例では 7)。

選んだ曲番号を表示し、1 秒後に 2 ステップ目の入力待ちになります。

MD P1 7

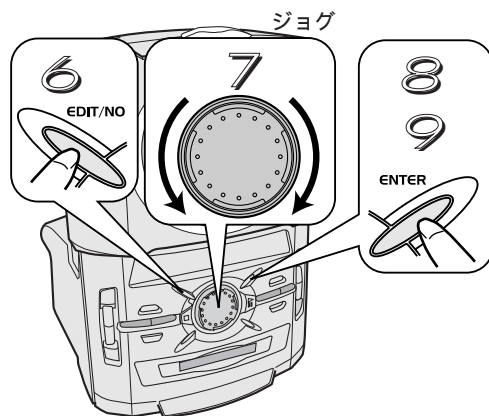
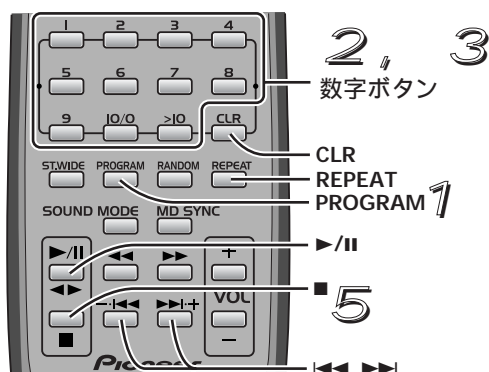
MD P2 3:28

* P2 はステップ番号 2、3:28 は合計時間です。

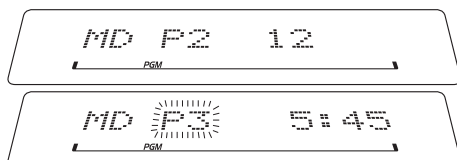


便利

もし曲番号をまちがえたら^{クリア}CLR ボタンを押してください。押す度に後ろのプログラムステップから順番に消していきます。消した後、曲番号を入れ直してください。



- 3 次に演奏する曲番号の数字ボタンを押す(例では12 (>10、1、2))、1秒待つ。選んだ曲番号を表示し、1秒後に3ステップ目の入力待ちになります。



* P3 はステップ番号 3、5:45 は合計時間です。

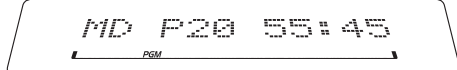


おや?

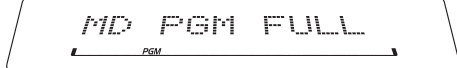
曲番号が11以上のときは、まず、>10を押してから、十の位の数字、一の位の数字を順番に押します(31ページ「ききたい曲から演奏する」をご覧ください)。

- 4 手順3(または手順2)をくり返して次の曲を予約する。
24曲(ステップ番号24)まで予約できます。

- 5 24曲以下で予約を終ったら停止ボタン(■)を押す。合計曲数と合計演奏時間を表示します。

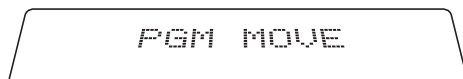


25曲目を入力しようすると"MD PGM FULL"を表示し、予約の受付を終わります。

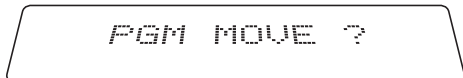


- 6 エディット ノー EDIT/NO ボタンを押す。

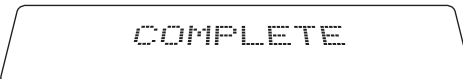
- 7 ジョグをまわして"PGM MOVE"を表示する。



- 8 エンター ENTER ボタンを押す。確認のメッセージ"PGM MOVE ?"が表示されます。



- 9 並べ替えるなら、ENTER ボタンを押す。予約した順序に曲を並べ替え、"COMPLETE"と表示されます。



おや?

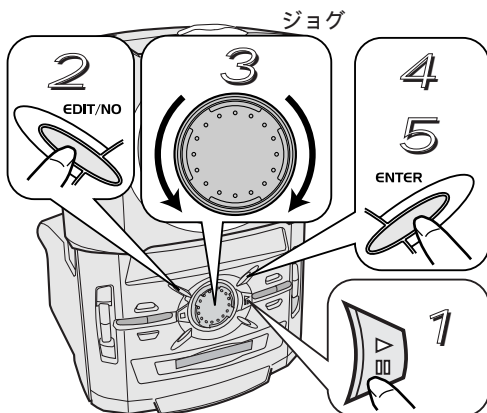
予約しなかった曲は、並べ替えた曲のうしろに並びます。
同じ曲を2回以上予約した場合は、後に予約したところへ移動します。

曲を消す

1 つの曲を消す

トラックイレース機能

選択した 1 つの曲を消すことができます。



操作例) 6 曲目を消す場合

再生 / 一時停止ボタン

1 6 曲目をききながら、再生 / 一時停止ボタン(▶/■)を押す。

演奏が一時的停止状態になります。

または、停止状態で◀◀または▶▶ボタンを押して 6 曲目を表示させる。

2 エディット ノー EDIT/NO ボタンを押す。

3 ジョグをまわして "ERASE" を表示する。

ERASE

4 エンター イレース ENTER ボタンを押す。
確認のメッセージ "ERASE 6?" が表示されます。

ERASE 6 ?

5 消すなら、ENTER ボタンを押す。
6 曲目が消去され、"COMPLETE" と表示されます。

COMPLETE



削除された曲以降の曲番号が 1 つずつ順送りされます。

ひと言



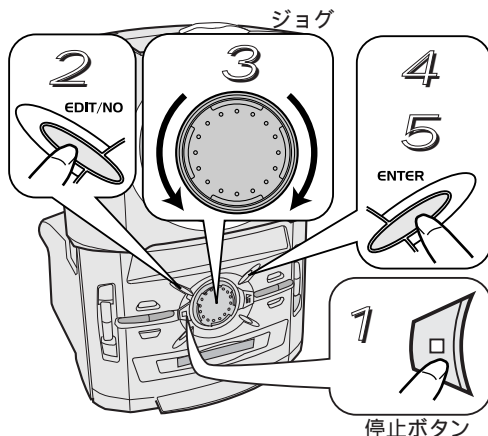
誤消去防止状態になっている MD は消去できません。(35 ページをごらんください。)

ご注意

MD の全曲を消す

オールイレース機能

MD に録音したすべての曲を一度に消すことができます。



停止ボタン

1 停止ボタン(■)を押す。
MD を停止状態にします。

2 エディット ノー EDIT/NO ボタンを押す。

3 ジョグをまわして "ALL ERASE" を表示する。

ALL ERASE

4 エンター オール イレース ENTER ボタンを押す。
確認のメッセージ "ALL ERASE ?" が表示されます。

ALL ERASE ?

5 消すなら、ENTER ボタンを押す。
MD の全曲目が消去され、"COMPLETE" と表示されます。

COMPLETE

MD に行った編集操作を取り消す

取り消せる場合 / 取り消せない場合

MDに編集操作を行った直後に、この編集結果を取り消して元に戻す機能(アンドゥー機能)があります。この機能を使って元に戻せる(取り消せる)場合と戻せない(取り消せない)場合があります。

取り消しできるとき

次の編集操作を行った直後は元に戻せます。

- 曲を2つに分ける(デバイド機能)
- 2つの曲を1曲にする(コンバイン機能)
- 1つの曲を移動する(ムーブ機能)
- 曲を並べかえる(プログラムムーブ機能)
- 1つの曲を消す(トラックイレース機能)
- MDの全曲を消す(オールイレース機能)
- ディスクに名前をつける(ディスクネーム機能)()
- 曲に名前をつける(トラックネーム機能)()
- (名前の入力を停止状態で行った場合に限りです。)

取り消しできないとき

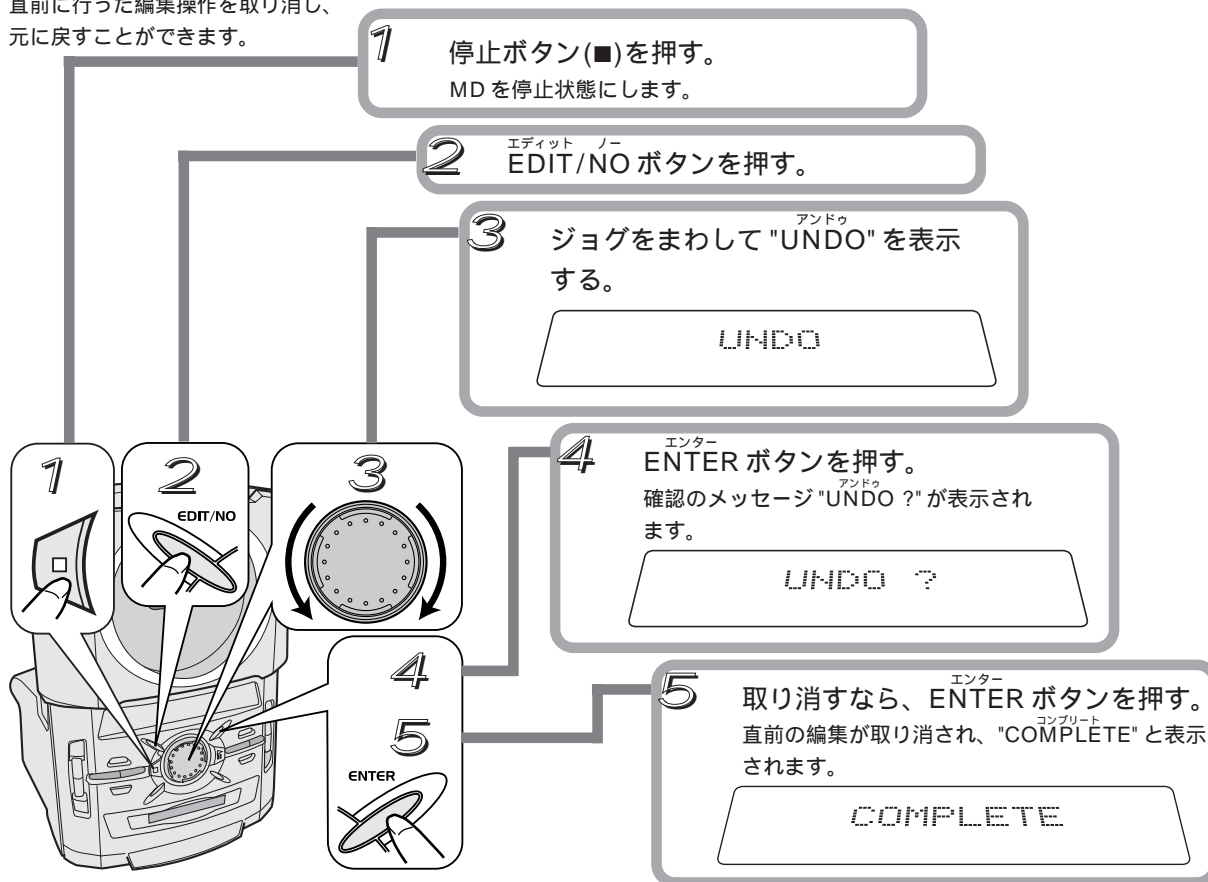
取り消し機能(アンドゥー機能)を使う前に次のことがあると"**CAN'T ^{キャンスト}UNDO**"と表示され、取り消せません。

- 本機からMDを取り出してしまったとき
- 本機の電源をオフにしたとき
- 停電などがあったとき
- 新たに別の編集機能を使ってしまったとき
- 録音を始めてしまったとき
- 取り消し機能(アンドゥー機能)を使った直後

直前の編集操作を取り消す

アンドゥー機能

直前に行った編集操作を取り消し、元に戻すことができます。



ディスクや曲に名前をつけて表示する

ディスクや各曲に好きな名前をつけて表示することができます。

名前の入力のしかた

例) ディスクまたは5番目の曲に"JAZZ"と表示する。

- 1 a 曲に名前をつけるときは、停止状態で◀◀または▶▶ボタンを押して5曲目を表示させる。再生中、再生一時停止中、または録音中にも現在の名前をつけることもできます。
ただし、再生、録音中に名前を入力していて、入力が終了する前に次の曲になってしまったときは、そこまでの名前が登録されます。あとでつづきを入力してください。
- 1 b ディスクに名前をつけるときは、停止ボタン(■)を押して総曲数を表示させる。

- 2 NAME ボタンを押す。
文字を入れる位置が点滅表示されます。

- 3 ジョグを回して文字(J)を選ぶ。

手順3、5、7、9で文字を選ばずに次の手順(▶▶を押す)に進むと、そこはスペース(空白)になります。

便利

キャラクター CHARA ボタンを押すと文字の種類を選べます。

手順3、5、7、9でCHARAボタンで文字の種類を選んでから、ジョグをまわして文字を選びます。

アルファベット (大文字)
アルファベット (小文字)
数字・記号
カタカナ

便利

使える文字の種類は、アルファベット、数字・記号、カタカナです。

1 a 曲に名前をつけるときは、停止状態で◀◀または▶▶ボタンを押して5曲目を表示させる。

1 b ディスクに名前をつけるときは、停止ボタン(■)を押して総曲数を表示させる。

2 NAME ボタンを押す。

3 ジョグを回して文字(J)を選ぶ。

4 ▶▶ボタンを押す。

5 ジョグを回して文字(A)を選ぶ。

6 ▶▶ボタンを押す。

7 ジョグを回して文字(Z)を選ぶ。

8 ▶▶ボタンを押す。

9 ジョグを回して文字(Z)を選ぶ。

10 NAME ボタンを押す。

便利

◀◀ ボタンと ▶▶ ボタンでカーソル(文字を入れる位置を示すマーク)を左右に移動できます。

(◀◀ボタン) (▶▶ボタン)

ディスクや曲に名前をつけて表示する

- 4 ▶▶ボタンを押す。
2番目の文字の入力待ちになります。
- 5 ジョグを回して文字(A)を選ぶ。
- 6 ▶▶ボタンを押す。
3番目の文字の入力待ちになります。
- 7 ジョグを回して文字(Z)を選ぶ。
- 8 ▶▶ボタンを押す。
4番目の文字の入力待ちになります。
- 9 ジョグを回して文字(Z)を選ぶ。
- 10 NAME ボタンを押す。
最後の文字を選んだ後で押す。

名前を変えるとき

1枚のMDのすべての曲(255曲まで)に名前をつけることができます。

変えたい名前を表示させ、NAME ボタンを押して以下の操作で変更してから、NAME ボタンを押して終わります。

文字削除するには
◀◀または▶▶ボタンで文字を選び、EDIT/NO ボタンを押します。

文字を挿入するには
◀◀または▶▶ボタンで挿入する位置を決め、ジョグで文字を選び、ENTER ボタンを押します。

文字を入れ替えるには
◀◀または▶▶ボタンで入れ替える文字の場所を選び、ジョグで文字を選び、▶▶ボタンを押します。

ひとつの名前が100文字をこえると"NAME FULL"と表示され、これ以上は受け付けません。ディスク名と曲名の合計文字数が1792文字をこえると"TOC FULL"と表示され、これ以上は受け付けません(カタカナを入力すると文字の総数が減ります)。

EDIT/NO

ENTER

便利

ひと言

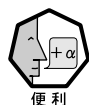
ディスクや曲に名前をつけて表示する

ディスクや各曲に好きな名前をつけて表示することができます。

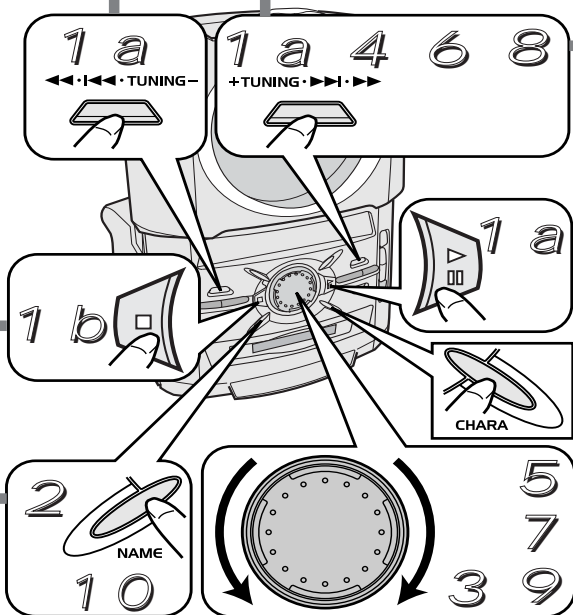
名前の入力のしかた

例) ディスクまたは5番目の曲に"JAZZ"と表示する。

- 1 a** 曲に名前をつけるときは、停止状態で◀◀または▶▶ボタンを押して5曲目を表示させる。再生中、再生一時停止中、または録音中にも現在の名前をつけることもできます。
ただし、再生、録音中に名前を入力していて、入力が終わる前に次の曲になってしまったときは、そこまでの名前が登録されます。あとでつづきを入力してください。
- 1 b** ディスクに名前をつけるときは、停止ボタン(■)を押して総曲数を表示させる。



使える文字の種類は、アルファベット、数字・記号、カタカナです。



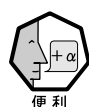
- 3** ジョグを回して文字(J)を選ぶ。

手順3、5、7、9で文字を選ばずに次の手順(▶▶を押す)に進むと、そこはスペース(空白)になります。



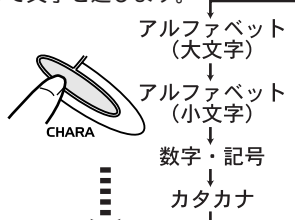
◀◀ボタンと▶▶ボタンでカーソル(文字を入れる位置を示すマーク)を左右に移動できます。

◀◀ (◀◀ボタン) ▶▶ (▶▶ボタン)



キャラクター CHARA ボタンを押すと文字の種類を選べます。

手順3、5、7、9でCHARAボタンで文字の種類を選んでから、ジョグをまわして文字を選びます。



アルファベット (大文字)	A B C D E F G H I J K L M
	N O P Q R S T U V W X Y Z
アルファベット (小文字)	a b c d e f g h i j k l m
	n o p q r s t u v w x y z
数字・記号	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! " #
	\$ % & ' () * + , - . / :
	; < = > ? @ _ `
カタカナ	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス
	セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ノ ネ ノ ハ
	ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ ヤ ユ ヨ ラ
	リ ル レ ロ ワ ヲ ヱ ア イ ウ エ オ ヤ
	ユ ヨ ツ ヂ 濁点 半濁点 長音
	空白スペース

ディスクや曲に名前をつけて表示する

- 4** ▶▶ボタンを押す。

2番目の文字の入力待ちになります。



- 5** ジョグを回して文字(A)を選ぶ。



- 6** ▶▶ボタンを押す。

3番目の文字の入力待ちになります。



- 7** ジョグを回して文字(Z)を選ぶ。

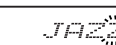


- 8** ▶▶ボタンを押す。

4番目の文字の入力待ちになります。

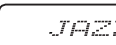


- 9** ジョグを回して文字(Z)を選ぶ。



- 10** NAME ボタンを押す。

最後の文字を選んだ後で押す。



1枚のMDのすべての曲(255曲まで)に名前をつけることができます。



一つの名前が100文字をこえると"NAME FULL"と表示され、これ以上は受け付けません。ディスク名と曲名の合計文字数が1792文字をこえると"TOC FULL"と表示され、これ以上は受け付けません(カタカナを入力すると文字の総数が減ります)。

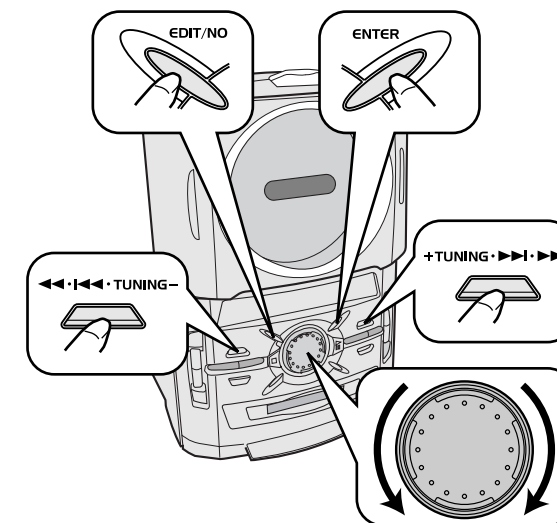
名前を変えるとき

変えたい名前を表示させ、NAME ボタンを押して以下の操作で変更してから、NAME ボタンを押して終わります。

文字削除するには
◀◀または▶▶ボタンで文字を選び、EDIT/NO ボタンを押します。

文字を挿入するには
◀◀または▶▶ボタンで挿入する位置を決め、ジョグで文字を選び、ENTER ボタンを押します。

文字を入れ替えるには
◀◀または▶▶ボタンで入れ替える文字の場所を選び、ジョグで文字を選び、▶▶ボタンを押します。



決めた時刻に演奏する・録音する

本機の時計機能を使って決めた時刻に演奏を始めて終わり(目覚ましタイマー)、決めた時刻に録音を始めて終わる(タイマー録音)ことができます。また、決めた時間後に電源を切る(スリープタイマー)ことができます。

決めた時刻に演奏する

目覚ましタイマー



タイマー動作を解除しなければ1日1回、毎日同じ時間に演奏をくり返します。

ひと言

1. 演奏するものの準備をしてください。

CDを演奏する

ききたいCDを本機に入れてください(22ページ)。

ラジオをさく

ききたい放送局に合わせてください(17～19ページ)。

MDを演奏する

ききたいMDを本機に入れてください(30ページ)。

2. 演奏する機器を選んでください。

演奏するソースの(CDまたはTUNERまたはMD)ボタンを押します。

3. 演奏するときの音量を設定してください。

決めた時刻に演奏するときの音量にしてください。

4. 目覚ましタイマー(WAKE-UP)を選びます。

1. タイマー レコ ウェイク アップ
TIMER REC/WAKE-UP ボタンを押す。

2. ジョグをまわして "WAKE-UP" を表示する。

WAKE-UP

5. 始める時間を設定する。(例 午前6時30分)

3. エンター
ENTER ボタンを押す。
「時」の入力モードになります。

ON

00:00

4. ジョグをまわして「時」を選ぶ。
例では「6」にする。

ON

00:00

5. エンター
ENTER ボタンを押す。
「分」の入力モードになります。

ON

6:00

6. ジョグをまわして「分」を選ぶ。
例では「30」にする。

ON

6:30

決めた時刻に録音する

タイマー録音



決めた時間に1回録音するとタイマー動作を解除します(設定内容は記憶しています)。

ひと言

1. 録音するもの(ラジオ ^{チューナー} または外部入力端子 ^{オフチカル デジタル イン ライン} OPTICAL DIGITAL IN/LINE 1 IN/LINE 2 IN)に接続した機器の準備をしてください。

ラジオを録音する

録音したい放送局に合わせてください(17～19ページ)。

2. 録音する機器を設定してください。

録音するソースのボタンを押します(TUNERまたはLINE 1, 2 OPT IN)。



録音するときの演奏音量は最小になります。

おや?

3. 録音するMDを本機に入れてください。

4. 録音タイマー(TIMER REC)を選びます。

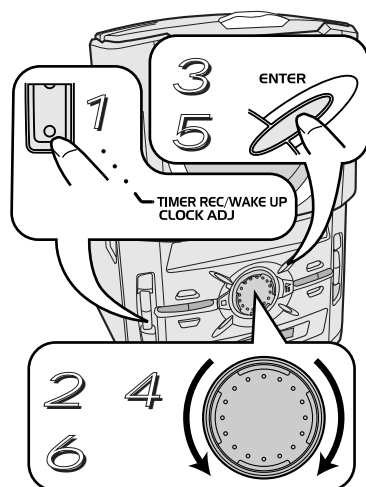
1. タイマー レコ ウェイク アップ
TIMER REC/WAKE-UP ボタンを押す。

2. ジョグをまわして "TIMER REC" を表示する。

TIMER REC



時間表示は24時間方式(午後1時を13:00と表示する)です。



決めた時刻に演奏する・録音する



- 時計を合わせていないと、タイマー機能を使用することはできません。



- 停電や電源コードを抜いてしまうと、電源を入れたときに表示部が点滅しています。この場合、タイマー設定は消去されます。

決めた時刻に演奏する(つづき)

5. 終わる時間を設定する。(例 午前8時00分)

7 ^{エンター} ENTER ボタンを押す。
「時」の入力モードになります。

8 ジョグをまわして「時」を選ぶ。
例では「8」にする。

9 ^{エンター} ENTER ボタンを押す。
「分」の入力モードになります。

10 ジョグをまわして「分」を選ぶ。
例では「30」にする。

6. 設定内容を確認する。

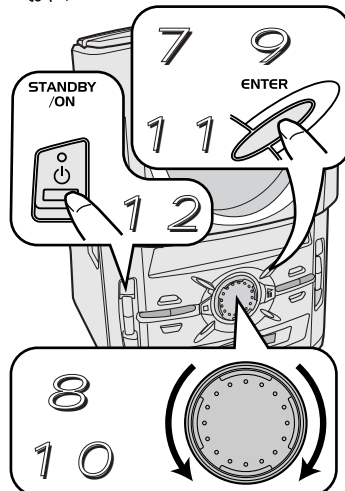
11 ^{エンター} ENTER ボタンを押す。
設定内容を順番に表示します。

7. タイマー動作に入る(スタンバイ状態にする)

12 ^{スタンバイ} ^{オン} STANDBY/ON ボタンを押す。
電源がオフになりスタンバイインジケーターが点灯します。
設定した時間に電源がオンし、演奏または録音をした後、電源がオフになります。



最初、終わる時間は、始める時間の1時間後が表示されます。



タイマー設定操作中に設定手順に関係ないボタンを押すと、設定を中止できます。

タイマー設定内容を変更するには

最初からやり直してください。以前の設定内容が順次表示されますので、そのままであればENTERボタンを押してください。次の手順に進みます。



タイマー動作中に(スタンバイ中に)、^{タイマー} ^{レコ} ^{ウエイク} ^{アップ} TIMER REC/WAKE-UP ボタンを押すとタイマー設定内容を表示します。

「決めた時刻に演奏する」を中止する

- 1 ^{スタンバイ} ^{オン} STANDBY/ON ボタンを押し、電源をオンにする。
- 2 ^{タイマー} ^{レコ} ^{ウエイク} ^{アップ} TIMER REC/WAKE-UP ボタンを押す。
- 3 ジョグをまわして ^{ウエイク} ^{アップ} "WAKE-UP" を表示する。
- 4 ^{エンター} ^{タイマー} ^{オフ} ENTER ボタンを押すと "TIMER OFF" を表示し ^{ウエイク} ^{アップ} WAKE-UP インジケーター消灯してタイマー動作を中止する。

「決めた時刻に録音する」を中止する

- 1 ^{スタンバイ} ^{オン} STANDBY/ON ボタンを押し、電源をオンにする。
- 2 ^{タイマー} ^{レコ} ^{ウエイク} ^{アップ} TIMER REC/WAKE-UP ボタンを押す。
- 3 ジョグをまわして ^{タイマー} ^{レコ} "TIMER REC" を表示する。
- 4 ^{エンター} ^{タイマー} ^{オフ} ENTER ボタンを押すと "TIMER OFF" を表示し ^{タイマー} ^{レコ} REC インジケーター消灯してタイマー動作を中止する。

決めた時刻に演奏する・録音する

決めた時間後に電源を切る

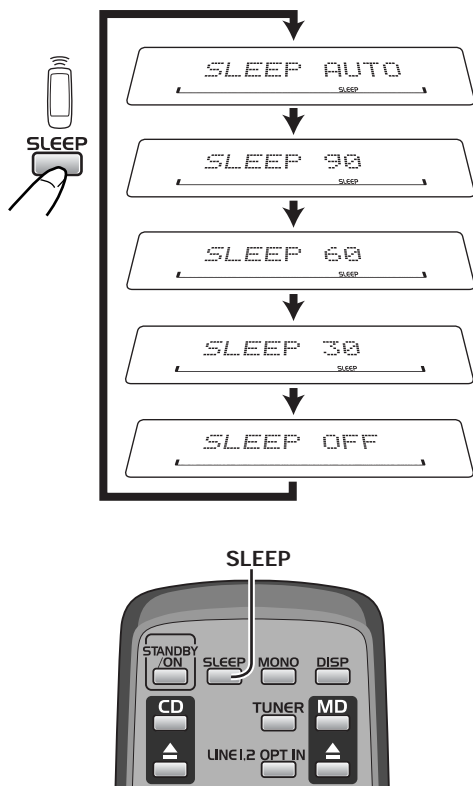
スリープタイマー

設定した時間が経過すると自動的に電源がオフになります。音楽をききながらねむったり、録音したまま外出するときに便利です。

設定できる時間は、90分、60分、30分の3種類とスリープオート()です。

スリープオート

スリープオートはCDやMDの演奏中や、MDの録音中に選べ、演奏または録音が終わって1分後に、自動的に電源がオフになります。ただし、CDやMDのリPEAT演奏中はスリープオートを選べません。



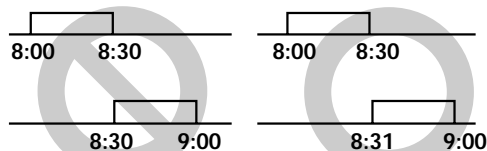
タイマーを同時に使ったとき

タイマー録音、目覚ましタイマー、スリープタイマーの動作が重なった場合は先に動作する方が優先します。

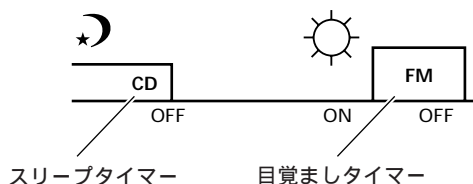
開始時刻が重なった場合は、タイマー録音(TIMER REC)「決めた時刻に録音する」、目覚ましタイマー(WAKE-UP)「決めた時刻に演奏する」、スリープタイマー(SLEEP TIMER)「決めた時間後に電源を切る」

の順に優先されます。

タイマー録音(TIMER REC)「決めた時刻に録音する」と目覚ましタイマー(WAKE-UP)「決めた時刻に演奏する」は、一方が終了してから1分以上経過してから他方が始まるように動作時間をずらせば、両方使うことができます。



スリープタイマー(SLEEP TIMER)「決めた時間後に電源を切る」と目覚ましタイマー(WAKE-UP)「決めた時刻に演奏する」も、スリープタイマーが終了してから目覚ましタイマーが始まるように設定すれば、両方使うことができます。



故障？ ちょっと調べてください。

故障かな？ と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	症 状	原因と思われること	処 置
全てに共通	音が出ない。	電源プラグがはずれている。 すべてのコードが完全に接続されていない。 ファンクション(入力切換)が正しく選択されていない。	電源プラグを正しく接続する。 接続のしかたを参照して、正しく接続する。(8～10ページ) 聞きたい機器を選択する。
CD関係	プレイボタンを押しても演奏が始まらない。	ディスクの裏表を逆にセットしている。 ディスクに汚れやくもりなどがある。 ディスクに大きなキズやソリなどがある。 ファンクション(入力切り換え)がCDになっていない。	ディスクのレーベル面(印刷のある面)を上にし、正しくセットする。 ディスクをクリーニングする。(22ページ) ディスクを交換する。 CD ファンクションボタンを押す。
ラジオ関係	放送が聞こえない、聞き苦しい。	アンテナが接続されていない。 アンテナの向き、位置が悪い。 電気器具(蛍光灯、ドライヤーなど)を使用している。 周波数ステップがAM 10 kHzになっている。	アンテナを正しく接続する。 アンテナの向きや位置を調整する。 雑音を発生させる機器の使用をやめる。 周波数ステップをAM 9 kHzにする。(17ページ)
	放送がステレオなのにステレオにならない。	表示部の ^{モノ} MONO インジケーターが点灯している。	^{モノ} MONO ボタンを押して ^{モノ} MONO インジケーターを消灯する。(17ページ)
MD関係	録音ができない。	MDが誤消去防止状態になっている。 再生専用MDを入れている。 ^{トック} TOC がいっぱいになっている。 (録音、編集を繰り返すと、このようになることがあります。)	誤消去防止つまみを閉じる。 (35ページ) MDを入れかえる。 全曲消去を行えば新たに録音できます。(50ページ)
	モノラルで録音されてしまう。	モノラル長時間モードになっている。	録音モードをステレオモードにする。(44ページ)
	MDを入れても“ ^{ノー} NO ^{ディスク} DISC”と表示される。	ディスクにキズが付いている。	MDを入れかえる。
	音がとぎれる。	結露している。	1時間程待ってから再生する。(6ページ)
	短い曲を消しても録音の残り時間が増えない。	12秒以下の短い曲は曲として数えないことがある。	故障ではありません。

準備

基本操作

ラジオをきく

CDをきく

MDをきく

MDに録音する

MDを編集する

タイマ動作

故障？

その他

故障？ ちょっと調べてください。

	症 状	原因と思われること	処 置
M D 関 係	録音時間と残り時間をたしても最大録音可能時間にならない。	最小録音単位が2秒のため、これに満たない曲でも2秒のスペースを使っているので合わないことがある。 ディスクにキズがあり、録音不可の部分がある。	故障ではありません。 MDを入れかえる。
	コンバイン編集で曲と曲をつなげない。	録音、編集をくり返したディスクでこのようになることがある。 デジタル録音とアナログ録音の曲をつなごうとしている。 ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲をつなごうとしている。	故障ではありません。 デジタルと、アナログはつなげません。 ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲はつなげません。
	ライン LINE 1 入力で録音したとき、音が歪む。	ライン LINE 1 入力信号が大き過ぎる。	入力アッテネーターをオンにする。 (43 ページ)
	ライン LINE 1 入力で録音して演奏すると音が小さい。	入力アッテネーターがオンになっている。	入力アッテネーターをオフにする。 (43 ページ)
そ の 他	タイマーが動作しない。	タイマーがスタンバイ状態になっていない。	スタンバイ状態にする。 (54 ~ 55 ページ)
	リモコンがきかない。	リモコンの電池がなくなっている。 蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。	新しい電池に換える。(7 ページ) 蛍光灯をリモコン受光部から離す。
	いつのまにかデモモードが動作している。	停電が起きた。 電源コードを抜き差しした。	電源コードを抜き差ししてもデモモードにならない操作を行なう。(2 ページ)

テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことで、本機が正常に動作することがあります。

こんな表示が出たときは

表 示	意 味	このようにしてください
ノー ディスク NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが入っていない。 ● MDのデ - タが読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDを入れる。 ● MDをもう一度入れ直す。
ディスク エラー DISC ER *	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズがついている。 ● TOCがMDに書き込まれていないか、デ - タに異常がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDをもう一度入れ直す。 ● 他のMDと取りかえる。
ディスク ? DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● デ - タに異常がある。規格外のMDである。 ● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のMDと取りかえる。
ディスク フル DISC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● MDに録音できる空きがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● オ - ルイレ - スをし、録音をやり直す。 ● 他の録音用MDと取りかえる。
ブランク ディスク BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● 何も記録されていない。 (音楽もディスク名も記録されていない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生するときは、録音されたMDと取りかえる。
プレイバック PlaybackMD	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音用MDと取りかえる。
プロテクト PROTECTED	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが誤消去防止状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止状態をもとに戻す。
トラック フル TOC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲番や文字情報(ディスク名/曲名など)を登録する空きがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取りかえる。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
キャント レコ CAN'T REC	<ul style="list-style-type: none"> ● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音をやり直すか、MDをかえてみる。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
テンプ オーバー TEMP OVER	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度が高くなりすぎた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切ってしばらく休ませる。
キャント エディット CAN'T EDIT	<ul style="list-style-type: none"> ● 編集できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。
ネーム フル NAME FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名、曲名の合計が1792文字をこえている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名、曲名を短くする。
デフェクト DEFECT	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取りかえる。
メカ エラー MECH ER *	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが正しく働いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDの停止ボタンを押す。それでも表示が出る場合、ACプラグを抜いて再度つないでみる。
キャント コピー CAN'T COPY	<ul style="list-style-type: none"> ● コピ - 禁止のものから録音しようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コピ - 可能なもの(一般のCDなど)に換える。(表示が消えた場合は、そのままお使いいただけます。)
ノット オーディオ NOT AUDIO	<ul style="list-style-type: none"> ● オ - ディオ用でないデ - タが記録されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDを取りかえる。
ユートック エラー UTOC ER *	<ul style="list-style-type: none"> ● ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。(書き込み中はショックを与えないでください。)
トラック エラー TOC ERR *	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のMDと取りかえる。 ● オ - ルイレ - スをし、録音をやり直す。
デジタルイン アンロック DIN UNLOCK	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル入力の際に、正常な信号が入力されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル入力端子に正しく接続されているかを確認する。
エラー SIO ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器が一時的に動作しなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ACプラグを抜いて再度つないでみる。

* は数字またはコード

仕 様

CD MD チューナー部

FM チューナー部

受信周波数 76.0 ~ 108 MHz
アンテナ 75 不平衡型

AM チューナー部

受信周波数
..... 522 kHz ~ 1,629 kHz (9 kHz ステップ)
..... 530 kHz ~ 1,700 kHz (10 kHz ステップ)
アンテナ ループアンテナ (付属)

コンパクトディスクプレイヤー部

型式 コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク コンパクトディスク
チャンネル数 2 チャンネル (ステレオ)

ミニディスク部

記録方式 磁界変調オーバーライト方式
再生方式 非接触光学式
サンプリング周波数 44.1 kHz
周波数特性 20 Hz ~ 20 kHz

その他

外形寸法 205(幅) × 300(高さ) × 237(奥行) mm
本体質量 3.1 kg

付属品

保証書 1
取扱説明書 1
安全上のご注意 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
FM アンテナ 1
AM ループアンテナ 1
リモートコントロールユニット (リモコン) 1
単 3 形乾電池 (R6P) 2
システムコード 1
電源コード 1
ピンプラグコード 1

パワー スピーカーシステム部

アンプ部

実用最大出力 (EIAJ)
1kHz、10 %、6 30 W + 30 W

スピーカー部

型式 バスレフ式ブックシェルフ型、防磁設計(EIAJ)*
使用スピーカー (2 ウェイ方式)
低音用 (ウーファー) 10 cm (コーン型)
高音用 (トゥイーター) 2.5 cm (ドーム型)
公称インピーダンス 6
再生周波数帯域 40 ~ 30,000 Hz
最大入力 30 W (EIAJ)

* 「防磁設計 (EIAJ)」とは (社) 日本電子機械工業会 (EIAJ) の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

電源部・その他

電源電圧 AC100 V、50/60 Hz
消費電力 (電気用品取締法) 64 W
待機時消費電力 1 W
外形寸法 160(幅) × 300(高さ) × 263(奥行) mm
質量
右スピーカー 2.6 kg
左スピーカー 4.4 kg

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

準備

基本操作

ラジオをきく

CDをきく

MDをきく

MDに録音する

MDを編集する

タイマー動作

故障？

その他

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの方、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ・ご住所
- ・ご名前
- ・電話番号
- ・製品名（製品名：XC-K55MD）
- ・型番
- ・ご購入日
- ・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- ・訪問のご希望日
- ・ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

お客様ご相談窓口（全国共通フリーフォン）

カスタマーサポートセンター

家庭用オーディオ/ビジュアル製品のお問い合わせ窓口 ☎0070-800-8181-22

カタログのご請求窓口 ☎0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。

お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って修理いたします。

保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。

索引

あ～

アッテネーター	43
アナログ接続	42
アンドゥ	46、51
1 曲自動編集録音	39
オートチューニング	17
オートマーク	43、45
オールイレース	46、50

か～

カーソル	20
曲番号	25、31
誤消去防止つまみ	35
コンバイン	46、47

さ～

再生専用 MD	29
システムコード	6、8
自動編集録音	38、40
周波数ステップ	17
ジョグ	15
シンクロ録音スタート	44
ステーション	18、19
ステレオ標準プレイ	43、44
ステレオワイド	16
スピーカーコード	9
スペースカット	44
スリープタイマー	56
操作確認音	2

た～

ダイレクトサーチ(CD)	25
ダイレクトサーチ(MD)	31
ダイレクトパワーオン	15
ディスクネーム	46、52
デジタル接続	42
デバインド	46、47
デモ表示	ウラ表紙
電源コード	6、9
トラックイレース	46、50
トラックサーチ(CD)	24
トラックサーチ(MD)	31
トラックナンバー	25、31
トラックネーム	46、52
トーンコントロール	16
タイマー録音	54

は～

ハイスピードマニュアルチューニング	17
バランスコントロール	16
光デジタル入力端子	10
プログラムムーブ	46、48
ピンプラグコード	6、8
プログラム演奏(CD)	26
プログラム演奏(MD)	32
防磁設計 (EIAJ)	6

ま～

マニュアルサーチ(CD)	24
マニュアルサーチ(MD)	30
マニュアルチューニング	17
ムーブ	46、48
目覚ましタイマー	54
モノラル長時間プレイ	43、44

ら～

ランダムプレイ(CD)	25
ランダムプレイ(MD)	31
リピートプレイ(CD)	25
リピートプレイ(MD)	32
リモコン受光部	7
リモコンマーク	3
録音・再生用 MD	29

A～

AM アンテナ	6、9
AM 外部アンテナ	10
ASES	38
ATT	43
BALANCE	16
BASS	16
BEEP	2
CD カバーセンサー	15、22
CD 回転台	22
CD レンズクリーナー	6
FM アンテナ	6、9
FM 屋外アンテナ	10
LINE 1 入力・出力端子	10
LINE 2 入力・出力端子	10
MONO	17
MONO LP	43、44
SCMS	36
STATION MEMORY	18
STEREO SP	43、44
TREBLE	16
TOC	35、36

準備

基本操作

ラジオをきく

CDをきく

MDをきく

MDに録音する

MDを編集する

タイマI動作

故障？

その他

デモ（デモンストレーション）表示について

電源コードを接続すると、表示部に自動的にいろいろな表示が行われます（デモ表示）。

停電があると、表示部に自動的にいろいろな表示が行われます（デモ表示）。

デモ表示を止めるには

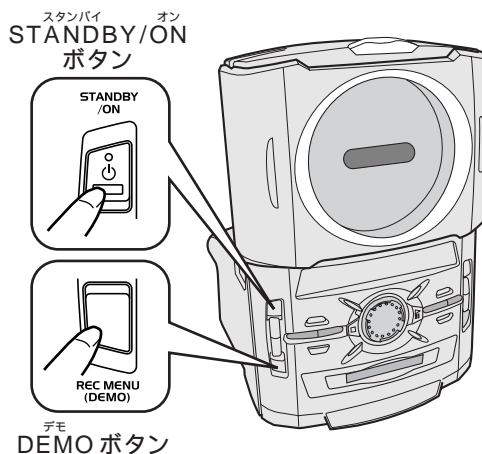
スタンバイ オン
STANDBY/ON ボタンを押すと、デモ表示を止めて電源オンになります。

デモ表示を始めないようにするには

デモ表示中に、DEMO ボタンを3秒以上押し続けると、自動的にデモ表示をすることを行わなくなります。

デモ表示を始めるようにするには

自動的にデモ表示をすることをしない状態で、電源を切った状態（スタンバイ状態）で、デモ ボタンを3秒以上押し続けると、自動的にデモ表示をするようになります。



愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電気が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。